

SONY®

3CCD

カラービデオカメラ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しております。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in Japan

<http://www.sony.co.jp/>

BR-C-300

© 2004 Sony Corporation



3854212090

安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5、6 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般および設置の注意事項が記されています。

定期点検を実施する

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検することをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使用を中止する

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示

目次

はじめに

本機の性能を維持するために	8
CCD 特有の現象	8

概要

特長	9
システムの構成機器	10
付属品	10
別売り機器	11
システム構成例	13
1台のカメラ BRC-300 を付属のリモコンで操作するとき	13
1台のカメラ BRC-300 をリモートコントロールユニット RM-BR300 で操作するとき	13
複数のカメラ BRC-300 をリモートコントロールユニット RM-BR300 で操作するとき	14
1台のカメラ BRC-300 を遠距離からリモート操作するとき	15
複数のカメラ BRC-300 を遠距離からリモート操作するとき	16
複数のカメラ BRC-300 を遠距離と近距離から混合して使用するとき	17
各部の名称と働き	18
カメラ本体	18
リモコン（付属）	20
リモートコントロールユニット RM-BR300（別売り）	21
オプチカルマルチプレックスユニット BRU-300（別売り）	24
アナログ RGB コンポーネントカード BRBK-301（別売り）	25
SDI カード BRBK-302（別売り）	25
オプチカルマルチプレックスカード BRBK-303（別売り）	25

メニューで行う調整と設定

メニュー画面の見かた	26
メインメニュー	26
設定メニュー	26
メニューの操作のしかた	27
付属のリモコンを使って操作する	27
リモートコントロールユニット RM-BR300 を使って操作する	28
EXPOSURE メニュー	29
FOCUS メニュー	30

WHITE BALANCE メニュー	30
PAN TILT ZOOM メニュー	31
PICTURE メニュー	32
SYSTEM メニュー	32
ANALOG OUT メニュー	33

付属のリモコンを使った操作

電源を入れる	34
パン・チルト・ズームを操作する	34
パン・チルトする	34
ズームする	35
複数のカメラをリモコンで操作する	35
カメラを調節する	36
ピントを合わせる	36
逆光を補正する	36
カメラの状態を記憶させる一プリセット機能	36

リモートコントロールユニット RM-BR300 をを使った操作

電源を入れる	38
複数のカメラを操作する	38
パン・チルト・ズームを操作する	39
パン・チルトする	39
ズームする	40
カメラを調節する	41
ピントを合わせる	41
逆光を補正する	41
ホワイトバランスを調節する	41
明るさを調節する	42
カメラの状態を記憶させる一プリセット機能	43
ポジション移動時の速度を設定する	44

設置と接続

設置する	45
インターフェースカードを取り付ける	45
カメラを設置する	45
高所へ設置する	46
接続する	51
AC 電源への接続	51
リモートコントロールユニット RM-BR300 との接続	52
コンポジット入力端子を持つビデオモニターや VTR との接続	53
S 映像入力端子を持つビデオモニターや VTR との接続	53
VISCA RS-232C 端子を持つ機器との接続	54
VISCA RS-422 端子を持つ機器との接続	54
アナログ RGB/コンポーネント端子を持つビデオモ	

ニターとの接続	55
SDI 入力端子を持つ VTR との接続	56
オプカルマルチプレックスユニット BRU-300 との接続	56
ビデオスイッチャーとの接続	57
外部同期の接続	58

付録

メッセージ一覧	59
故障かな?と思ったら	60
メニューの構成	62
プリセット項目	64
仕様	65
寸法図	66
端子のピン配列	69
VISCA RS-422 接続の配線図	72
VISCA RS-422 端子台コネクターの使いかた ...	73
保証書とアフターサービス	73

**警告**

火災



感電

下記の注意を守らないと、**火災や感電により死亡や大けがにつながる**ことがあります。



指示

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電発火の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

放熱ファンモーターの空気出入り口をふさがない

放熱ファンモーターの空気出入り口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・壁から 10 cm 以上離して設置する。
- ・密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・布などで包まない。
- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

ファンが止まったままの状態で使用しない

ファンモーターが故障すると、火災の原因となることがあります。交換は、本機を購入された販売店にご依頼ください。



指示

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご相談ください。

壁面や天井など高所への設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。

また、一年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。

また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。



禁止

不安定な場所に設置しない

次のような場所に設置すると、倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。

- ・ぐらついた台の上
 - ・傾いたところ
 - ・振動や衝撃のかかるところ
- また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



指示

別売りアクセサリーのレンズは確実に取り付ける

レンズはレンズのねじをしっかりと締めて取り付けてください。

取り付けたがゆるいと、レンズがはずれて、けがの原因となることがあります。

また、一年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。

また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。



指示

壁や天井に設置するときは、AC アダプターが落下しないようにしっかりと固定する

AC アダプターが落下して顔にあたると、大けがの原因となります。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



付属の電源コードを使う

指示

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。



コード類は正しく配置する

指示

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。



指定された電源コード、カメラケーブルなどの接続ケーブルを使う

指示

この取扱説明書に記されている電源コード、カメラケーブルなどの接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。



内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると、火災の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご相談ください。



雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、動作不良をはじめ、火災や感電の原因となることがあります。



AC 電源コードを傷つけない

AC 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・コードを加工したり、傷つけたりしない
- ・重い物をのせたり、引っ張ったりしない
- ・熱器具に近づけたり、加熱したりしない
- ・コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く

万一、コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



お手入れの際は、電源を切る

指示

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



運搬時には、接続ケーブルを取り外す

指示

本機を運搬する際には、AC 電源コードおよび接続ケーブルを必ず取り外してください。接続ケーブルに引っかかると、転倒や落下の原因となることがあります。



排気口からの排気に長時間あたらない

注意

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

電池についての安全上の注意

ここでは、本機での使用が可能な単三形乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

- ・電池の液が目に入ったら



すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

- ・煙が出たら



お買い上げ店に連絡する。

- ・電池の液が皮膚や衣服に付いたら



すぐにきれいな水で洗い流す。

- ・バッテリー収納部内で液が漏れたら



よくふき取ってから、新しい電池を入れる。

⚠ 警告

下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

- ・乾電池は充電しない。
- ・火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・指定された種類の電池を使用する。

⚠ 注意

下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

- ・投げつけない。
- ・使用推奨期限内(乾電池に記載)の乾電池を使用する。
- ・ \oplus と \ominus の向きを正しく入れる。
- ・電池を入れたまま長期間放置しない。
- ・新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
- ・種類の違う電池を混ぜて使わない。
- ・水や海水につけたり濡らしたりしない。

はじめに

本機の性能を維持するために

使用・保管場所について

次のような場所での使用および保管は避けてください。
故障の原因となります。

- ・極端に暑い所や寒い所（使用温度は0°C～40°C）
- ・直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く
- ・強い磁気を発するものの近く
- ・強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く
- ・強い振動や衝撃のある所

放熱について

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因となります。

輸送について

輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

お手入れについて

- ・レンズや光学フィルターの表面に付着したごみやほこりは、プロアードで払ってください。
- ・外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取ったあと、からぶきしてください。
- ・アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

定期メンテナンスについて

本機は駆動部を持つ製品であるため、使用条件により、磨耗やグリス切れによる異音が発生する場合があります。性能を維持するため、定期メンテナンスを行うことをおすすめします。異音などが発生した場合は、ソニーのサービス窓口にご連絡ください。

レーザービームについてのご注意

レーザービームはCCDに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CCD表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

CCD特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CCD（Charge Coupled Device）特有の現象で、故障ではありません。

白点

CCD撮像素子は非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。

これはCCD撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。

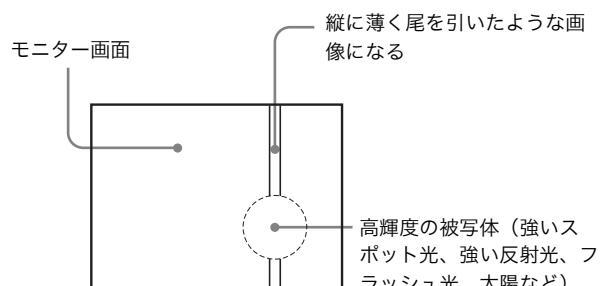
また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- ・高温の環境で使用するとき
- ・GAIN（感度）を上げたとき
- ・シャッタースピードが1/30以下のとき

本機においては、カメラの電源を切り、再び電源を入れることで症状が改善することがあります。

スミア現象

強いスポット光やフラッシュ光などを撮影したときに、画面上に縦線や画乱れが発生することがあります。



折り返しひすみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

特長

パン・チルト・ズーム機能搭載の小型一体型 3CCD ビデオカメラ

- ・本カメラは、CCD を 3 枚搭載した 3 CCD カメラブロックと、パン機構とチルト機構および光学 12 倍 / デジタル 4 倍ズームレンズを搭載した、小型一体型ビデオカメラです。小型一体型のため、幅広い用途に対応できます。
- ・パン方向の動作角度は左右に ±170 度、チルト方向の動作角度は上方向へ 90 度、下方向へ 30 度まで可能なため、広範囲のリモート撮影ができます。
- ・低速でも滑らかなパン・チルト移動動作ができる新機構の採用により、パン動作とチルト動作が最低速度 0.25 度 / 秒から可能になりました。
- ・パン・チルト機構には、最高速度 60 度 / 秒でも騒音が気にならない、静音設計を採用しています。

メガピクセル 3CCD カメラ搭載による高画質・高解像度のリモート撮影

- ・総画素数 107 万画素の 1/4.7 型 Advanced HAD * CCD を 3 枚搭載しています。
- * Advanced HAD はソニー株式会社の登録商標です。
- ・最低被写体照度 7 ルクス、水平解像度 600TV 本、S/N 比 50dB 以上を実現し、高画質、高解像度に優れ、さらに原色光学プリズムによる色再現性に優れた撮影が可能です。
- ・信号処理に新開発の DSP (14 ビット A/D 変換方式) を採用しており、きめ細かな映像が得られます。さらにデジタルノイズが大幅に減少し、低照度での撮影や黒い被写体の撮影に効果を発揮します。
- ・カメラ画像のアスペクト比は 4:3 モードと Wide16:9 モードを搭載。また、別売りのワイドコンバージョンレンズが取り付け可能なため、幅広い撮影条件に対応できます。

インターフェースカードスロットの装備

別売りのアナログ RGB コンポーネントカード BRBK-301、SDI カード BRBK-302 およびオプチカルマルチプレックスカード BRBK-303 が装着できるインターフェースカードスロットを装備しています。市場に合った画像出力フォーマットが選択可能となり、幅広いアプリケーション要求に対応できます。

長距離の画像伝送とパン・チルト・ズーム制御を実現

オプチカルマルチプレックスカード BRBK-303、光ファイバーケーブル CCFC-M100 およびオプチカルマルチプレックスユニット BRU-300 を組み合せ、ソニー独自のカメラ接続技術と光デジタル多重伝送を行うことで、短距離から最大 500m の長距離までカメラ画像伝送とパン・チルト・ズーム制御ができます。光ファイバーケーブルを使用することで、長距離のシステムアップも安価で簡単にできます。

付属のシーリングブラケットを使用することで、天吊りや高所設置が可能です。

VISCA カメラプロトコルの採用

本カメラには通信方式 RS-232C と RS-422 インターフェースを搭載しています。業界標準の VISCA カメラプロトコルをサポートし、最大 7 台のカメラを接続して高速通信速度対応 (38400bps) 遠距離操作が可能です。別売りのリモートコントロールユニット RM-BR300 により、カメラ操作が簡単に行えます。

外部映像同期機能の搭載

複数台のカメラ映像同期がとれる外部映像同期機能を搭載しています。また、コンポジットビデオ信号と S- ビデオ信号出力端子を標準装備しています。

タリーランプ機能の搭載

使用中のカメラが一目でわかるタリーランプを搭載しています。

無鉛はんだ実装基板の採用

環境に配慮した無鉛はんだを基板に使用しています。

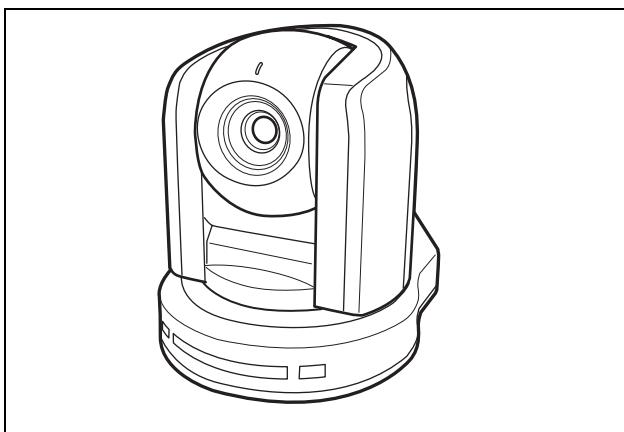
システムの構成機器

3CCD カラービデオカメラ BRC-300 には、多様なシステム構成に対応できるように、さまざまな別売り機器が用意されています。ここでは、本ビデオカメラの付属品と別売り機器を紹介します。

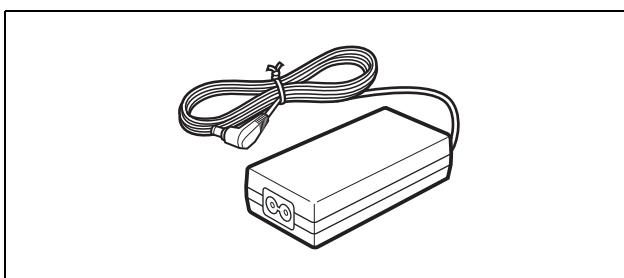
付属品

3CCD カラービデオカメラ BRC-300 の付属品は以下のとおりです。梱包をあけたら、以下の付属品が一式そろっているか確認してください。

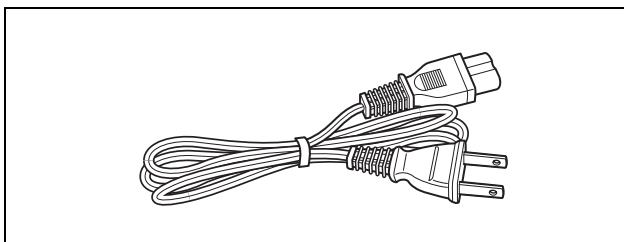
カメラ本体 (1)



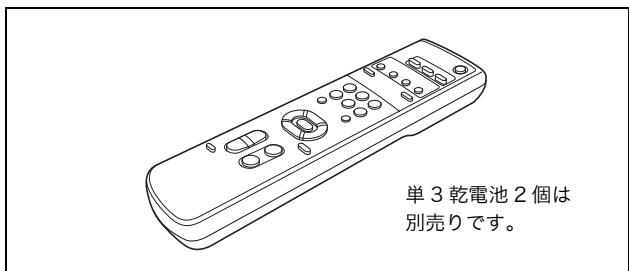
AC 電源アダプター MPA-AC1 (ソニー製) (1)



電源コード (1)

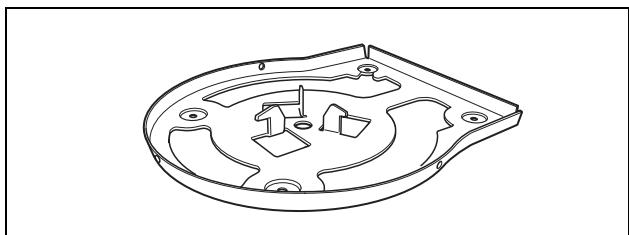


リモコン (1)

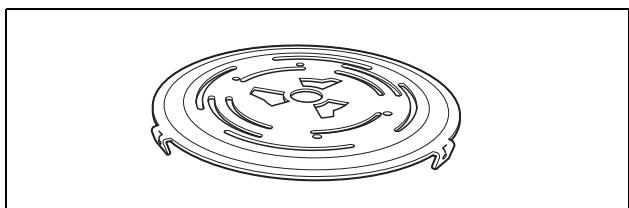


単3乾電池2個は別売りです。

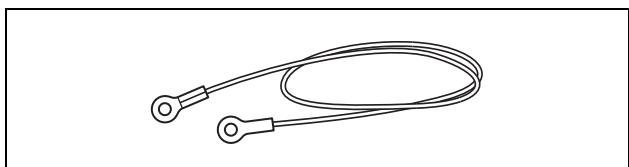
シーリングブラケット (A) (1)



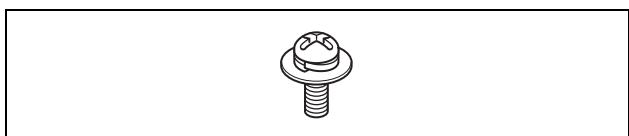
シーリングブラケット (B) (1)



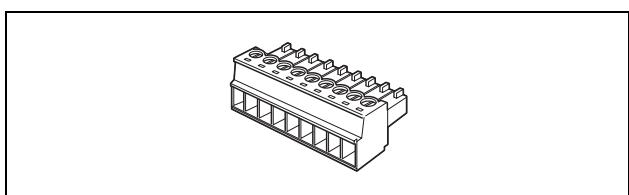
ワイヤーロープ (1)



ネジ \oplus M3 \times 8 (7)



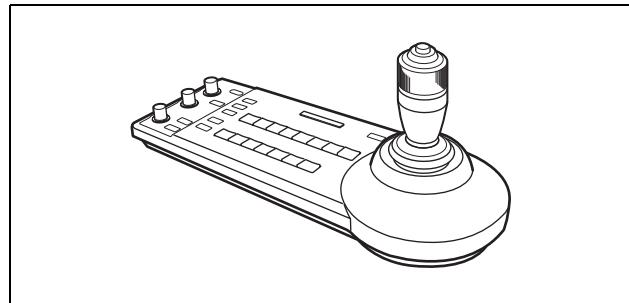
RS-422 端子台コネクター (1)



取扱説明書 (1)

別売り機器

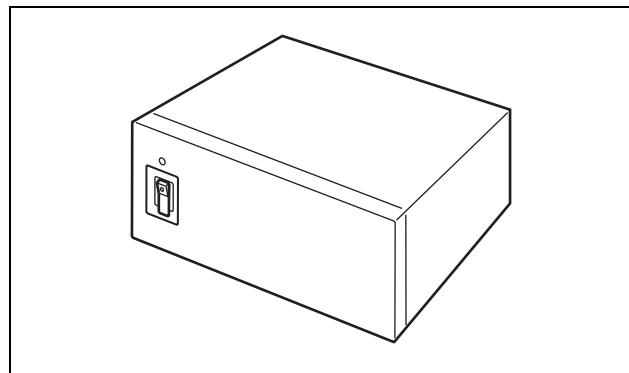
リモートコントロールユニット RM-BR300



ジョイスティックで快適なパン・チルト・ズーム操作ができます。また、最大7台のカメラをリモートコントロール可能です。

付属品：AC電源アダプター（1）、電源コード（1）、RS-232C接続ケーブル（3m）（1）、RS-422端子台コネクター（2）

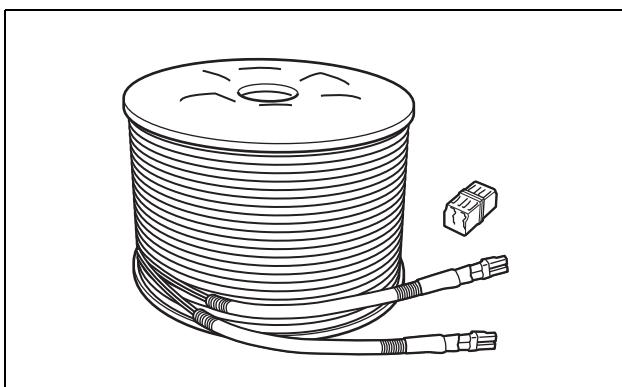
オプチカルマルチプレックスユニット BRU-300



光ファイバーケーブル CCFC-M100 を使って、最大500mまでの接続が可能です。

付属品：電源コード（1）、RS-232C接続ケーブル（3m）（1）、RS-422端子台コネクター（1）、変換プラグ（1）

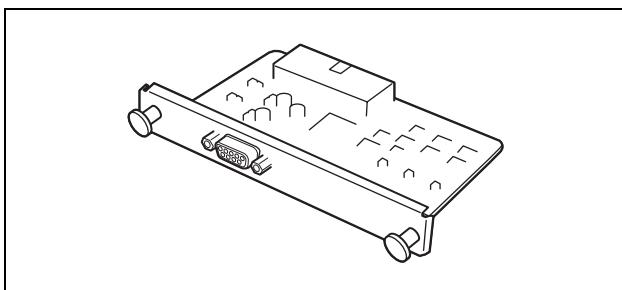
光ファイバーケーブル CCFC-M100



長さ100mの2芯マルチモードの光ファイバーケーブルです。

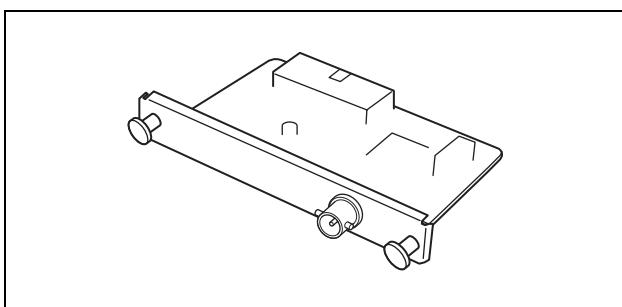
付属品：延長プラグ

アナログRGBコンポーネントカード BRBK-301



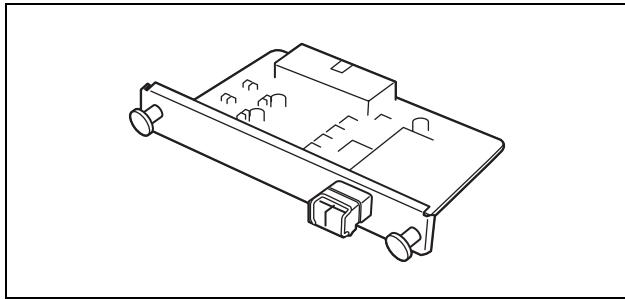
カメラまたはオプチカルマルチプレックスユニットに挿入して、各種アナログ信号（コンポジットビデオ、Sビデオ、コンポーネントビデオ、RGB）を出力します。

SDIカード BRBK-302



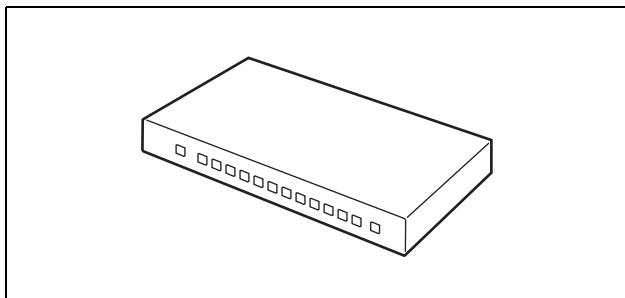
カメラまたはオプチカルマルチプレックスユニットに挿入して、SMPTE259Mシリアルデジタルインターフェース規格に準拠した信号を出力します。

オプチカルマルチプレックスカード BRBK-303



カメラに挿入して、高ビットの光デジタル多重伝送（映像、外部同期、コントロール信号）を行います。

ビデオスイッチャー（市販）



複数のカメラ映像信号入力を切り替えます。

システム構成例

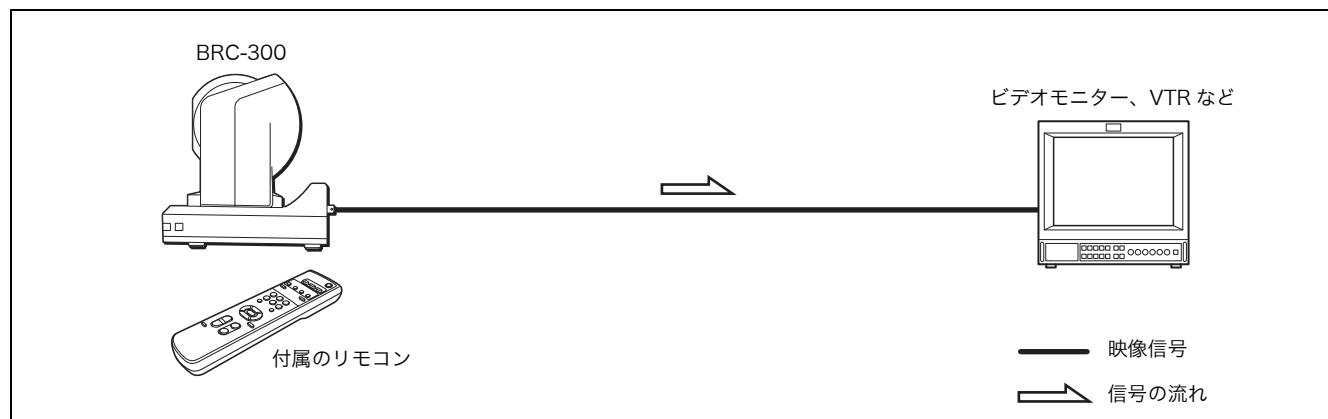
3CCD カラービデオカメラ BRC-300 は、別売り機器との組み合わせにより、さまざまなシステムを構成できます。ここでは、代表的な 6 つのシステム例をあげて、システムの構成に必要な機器とそのシステムでどんなことができるかを説明します。

1 台のカメラ BRC-300 を付属のリモコンで操作するとき

このシステムでできること

短距離で簡単にカメラを操作できます。

システム構成図

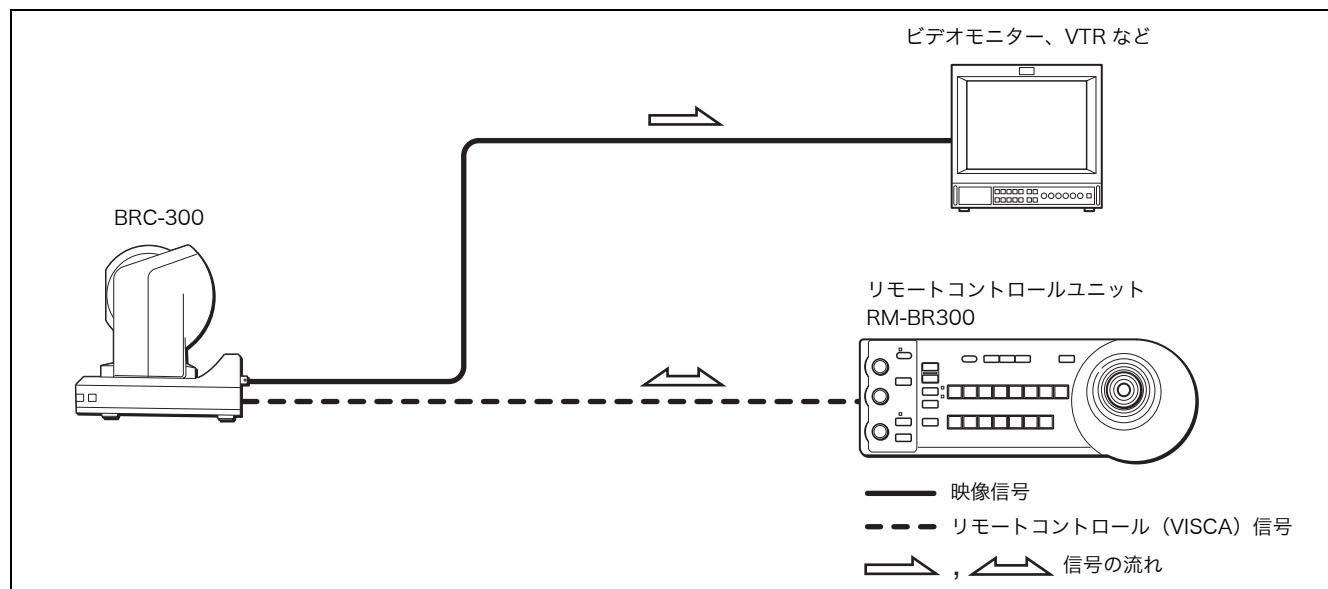


1 台のカメラ BRC-300 をリモートコントロールユニット RM-BR300 で操作するとき

このシステムでできること

リモートコントロールユニットのジョイスティックで快適なパン・チルト・ズーム操作ができます。

システム構成図

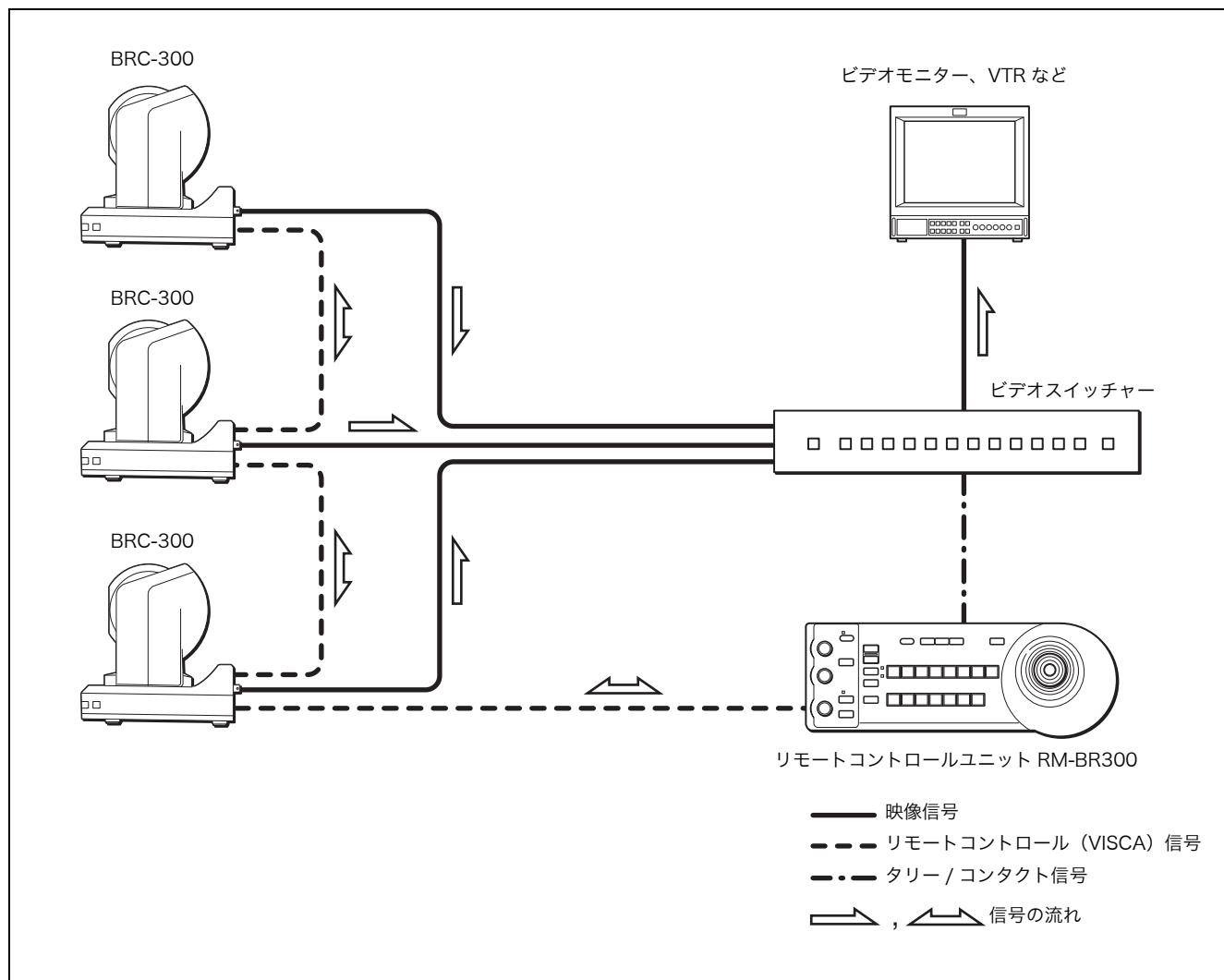


複数のカメラ BRC-300 をリモートコントロールユニット RM-BR300 で操作するとき

このシステムでできること

- ・ 7台までのカメラを1台のリモートコントロールユニットでリモート操作できます。
- ・ ジョイスティックで快適なパン・チルト・ズーム操作ができます。

システム構成図

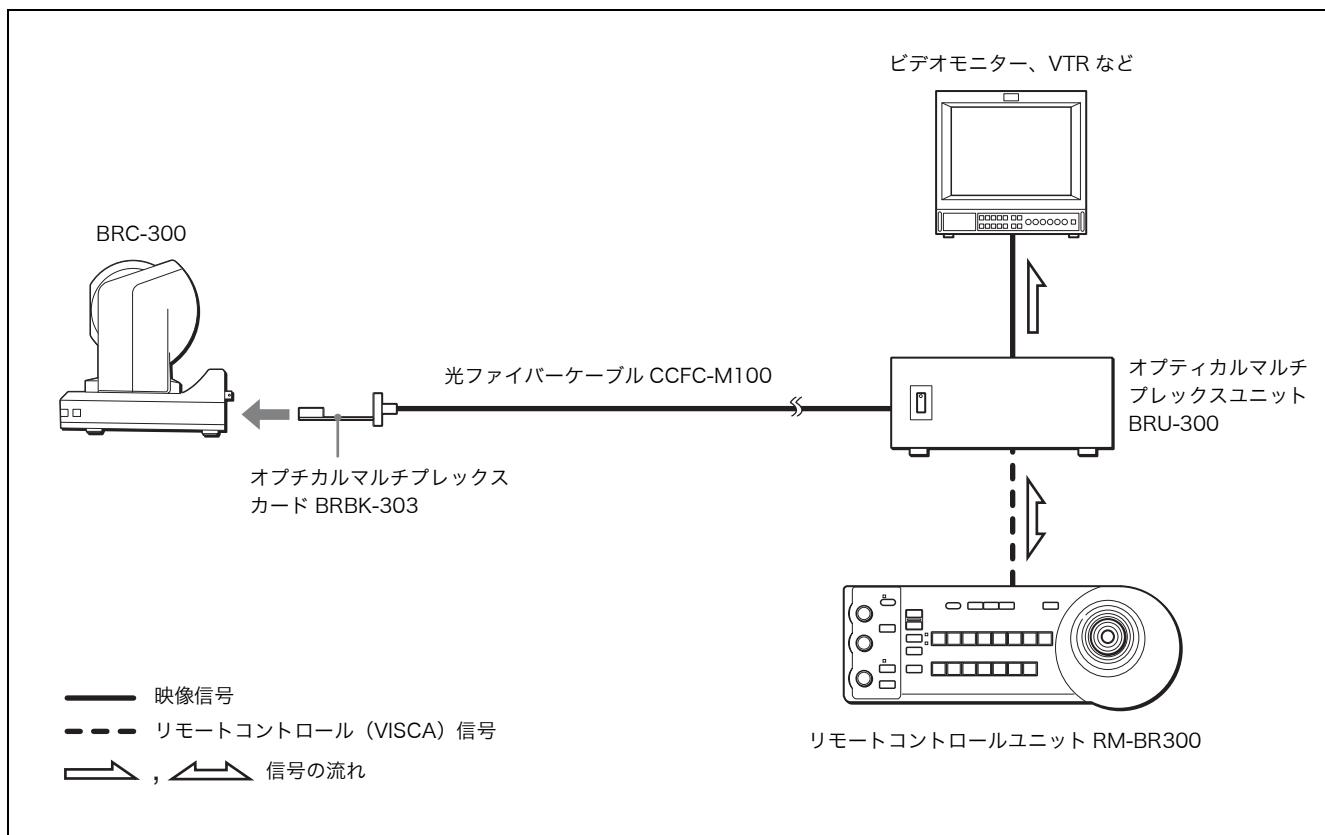


1台のカメラ BRC-300 を遠距離からリモート操作するとき

このシステムでできること

- ・最大 500m 離れたところから、カメラをリモート操作できます。
- ・ジョイスティックで快適なパン・チルト・ズーム操作ができます。
- ・光ファイバーケーブルの使用により、カメラ映像信号、カメラ制御信号の長距離伝送が可能です。

システム構成図



ご注意

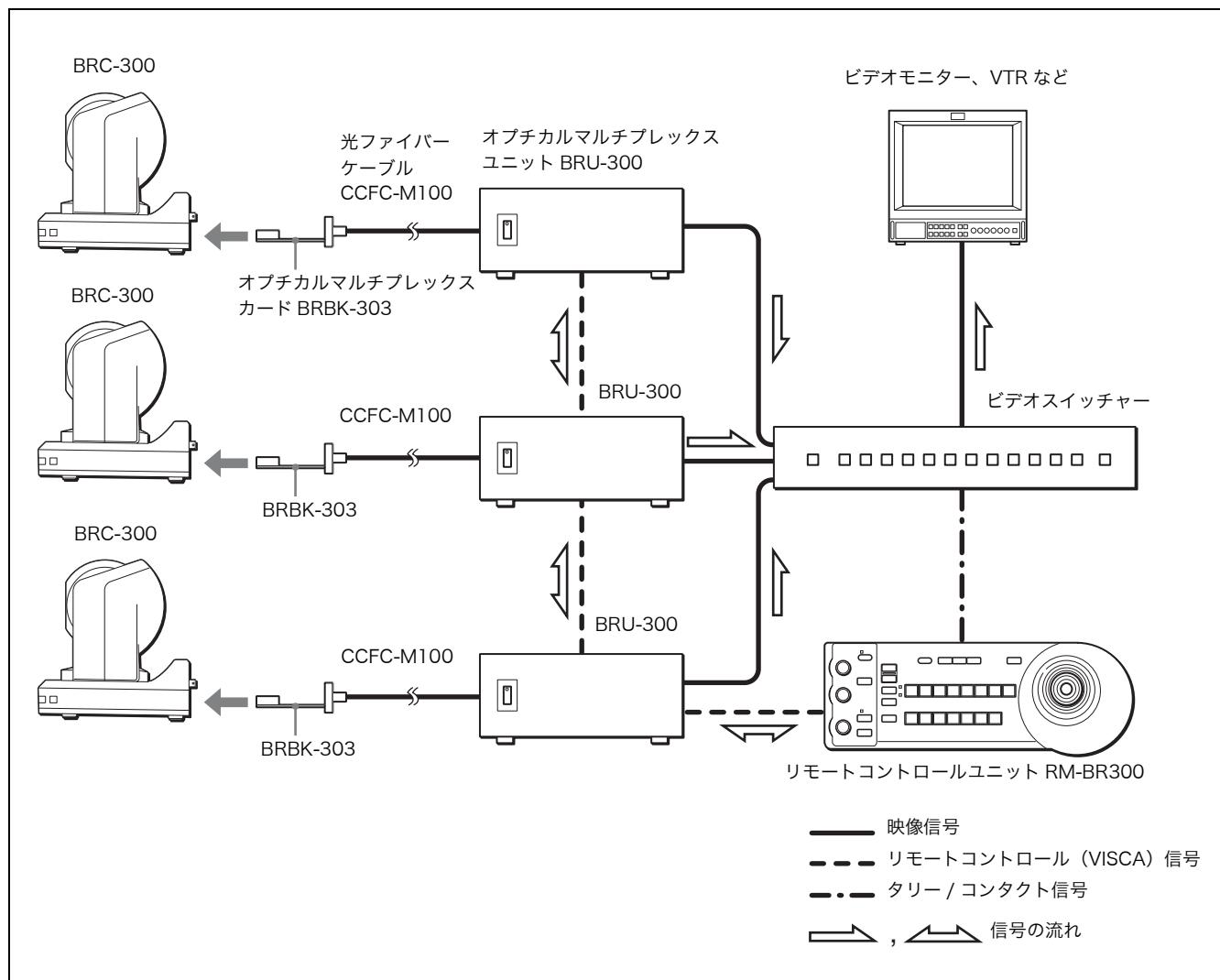
- ・オプチカルマルチプレックスカード BRBK-303 をカメラ BRC-300 に挿入し、何も接続しないと、カメラは動作しません。BRBK-303 を挿入したときは、光ファイバーケーブル CCFC-M100 を使ってオプチカルマルチプレックスユニット BRU-300 を接続し、BRU-300 の電源を入れてください。
- ・オプチカルマルチプレックスカード BRBK-303 をカメラ BRC-300 に挿入すると、カメラ後面の EXT SYNC 端子、VISCA RS-232C IN/OUT 端子、VISCA RS-422 端子および BOTTOM スイッチは、すべて無効になります。これらの端子およびスイッチの代わりにオプチカルマルチプレックスユニット BRU-300 後面の端子とスイッチをご使用ください。

複数のカメラ BRC-300 を遠距離からリモート操作するとき

このシステムでできること

- ・最大 500m 離れたところから、7台までのカメラをリモート操作できます。
- ・ジョイスティックで快適なパン・チルト・ズーム操作ができます。
- ・光ファイバーケーブルの使用により、カメラ映像信号、カメラ制御信号の長距離伝送が可能です。

システム構成図

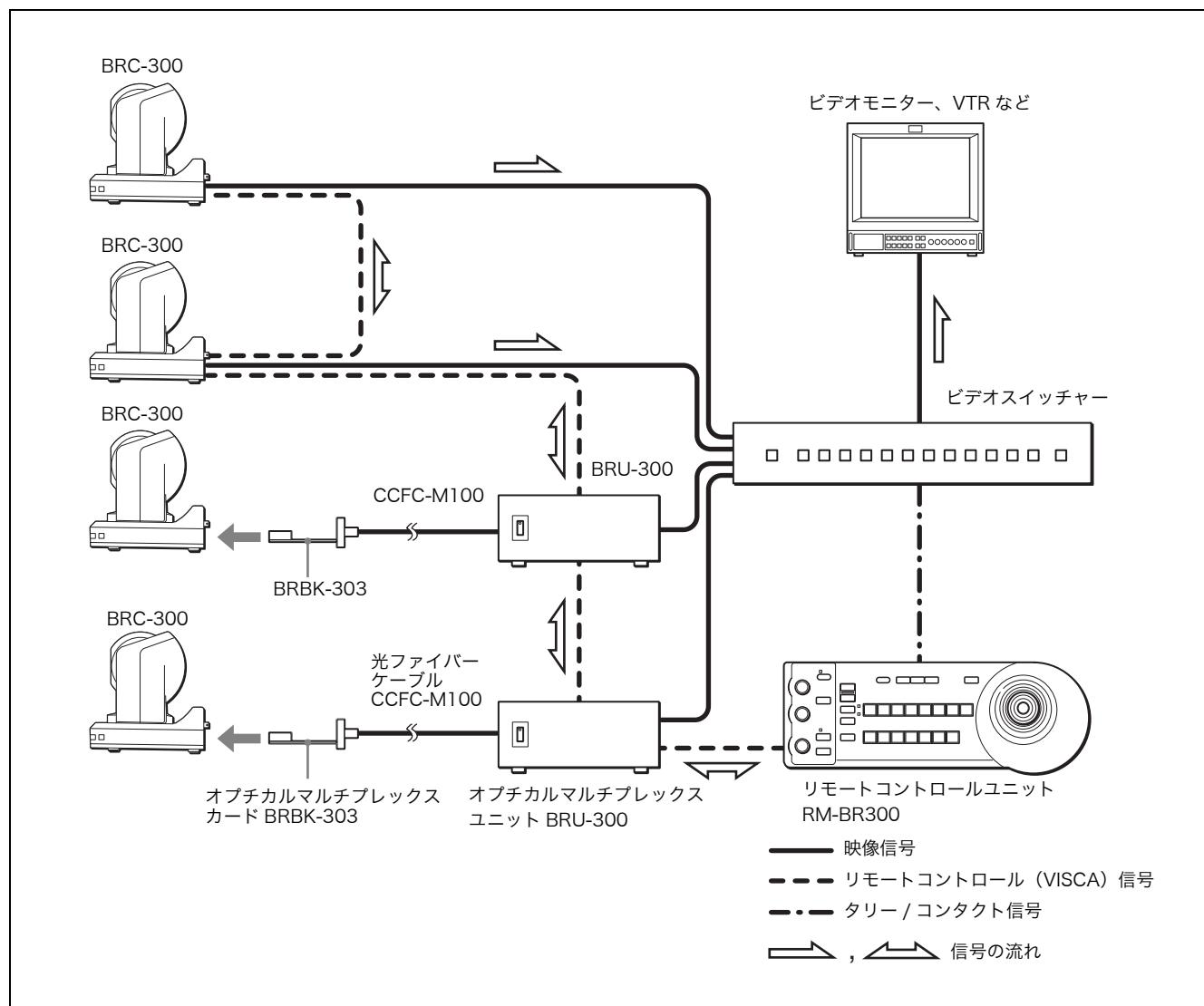


複数のカメラ BRC-300 を遠距離と近距離から混合して使用するとき

このシステムでできること

- ・7台までのカメラを1台のリモートコントロールユニットRM-BR300でリモート操作できます。
- ・ジョイスティックで快適なパン・チルト・ズーム操作ができます。
- ・最大500m離れたところから、リモート操作できます。光ファイバーケーブルの使用により、カメラ映像信号、カメラ制御信号の長距離伝送が可能です。

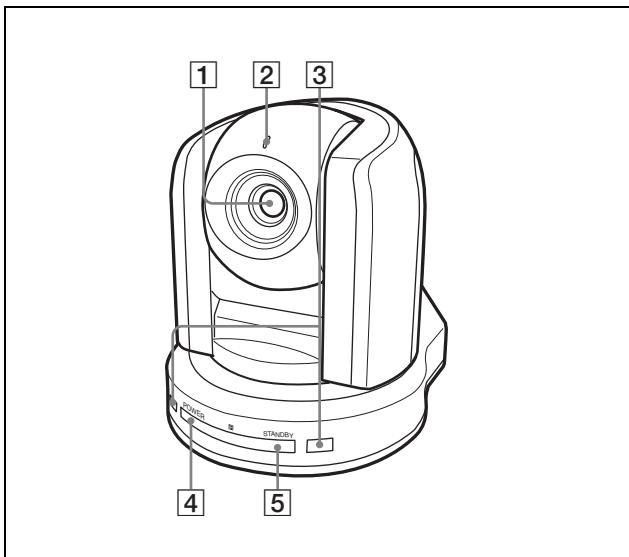
システム構成図



各部の名称と働き

カメラ本体

前面



① レンズ

別売りのワイドコンバージョンレンズを取り付けることもできます。

② タリーランプ

VISCA タリーコマンド受信時、または別売りのリモートコントロールユニット RM-BR300 からカメラを選択した場合、赤色に点灯します。また、冷却ファンモーターに異常がある場合（ファンモーターの回転数が遅くなったときや停止したとき）、タリーのオン／オフにかかわらず、約 0.5 秒間隔で点滅します。

③ リモコン受光部

付属のリモコンの受光部です。

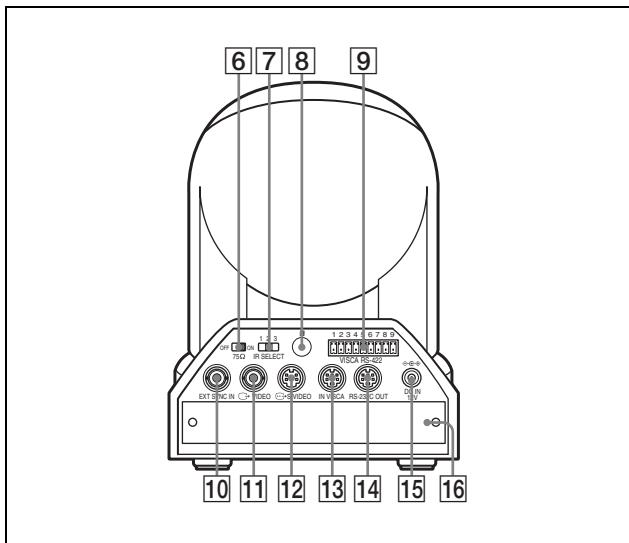
④ POWER ランプ

AC 電源アダプターと電源コードを使って本機をコンセントにつなぐと、点灯します。付属リモコンからの操作を受信すると、緑色に点滅してお知らせします。

⑤ STANDBY ランプ

リモコンで電源を切ると、点灯します。

後面



⑥ 75Ω 終端スイッチ

複数のカメラ接続時に外部同期を使用するとき、本機がディジチーン接続の真ん中のときは OFF に、最終端のときは ON にします。

⑦ IR SELECT スイッチ

複数のカメラを 1 台のリモコンで操作するとき、カメラ番号を決めます。

⑧ リモコン受光部

付属のリモコンの受光部です。

⑨ VISCA RS-422 端子

VISCA 通信に使用します。

VISCA RS-422 端子への接続のしかたは、「VISCA RS-422 端子台コネクターの使いかた」（73 ページ）をご覧ください。

⑩ EXT SYNC IN 端子

外部映像同期信号を入力します。

⑪ VIDEO 端子

本機からの映像をコンポジット信号として出力します。

⑫ S VIDEO 端子

本機からの映像を S 映像信号として出力します。

⑬ VISCA RS-232C IN 端子

別売りのリモートコントロールユニット RM-BR300 と接続します。複数のカメラを接続するときは、前のカメラの VISCA RS-232C OUT 端子と接続します。

14 VISCA RS-232C OUT 端子

複数のカメラを接続するとき、次のカメラの VISCA RS-232C IN 端子と接続します。

15 DC IN 12V 端子

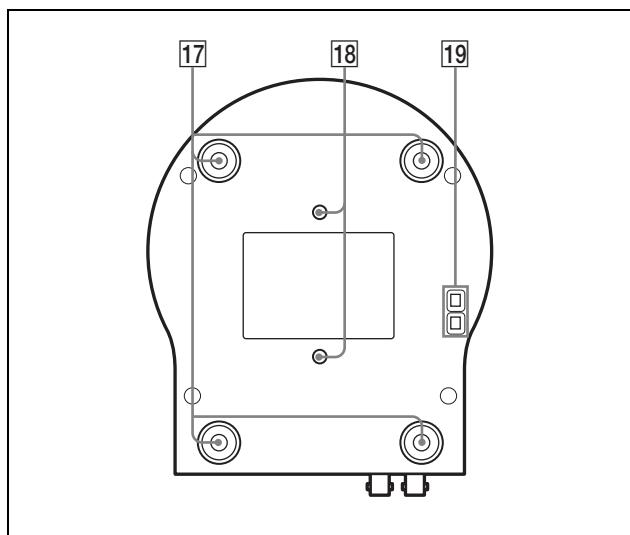
付属の AC 電源アダプターを接続します。

16 カードスロット

別売りのインターフェースカード BRBK-301、BRBK-302、BRBK-303 を挿入します。

出荷時は、カバーが取り付けてあります。

底面



17 高所設置用ブラケット取り付けネジ穴

本機を天井や高所の棚などに設置するとき、付属のシーリングブラケットを付属のネジ 4 本を使って固定します。

高所への設置方法は、「高所へ設置する」（46 ページ）をご覧ください。

18 三脚取り付け用ネジ穴 (1/4-20UNC)

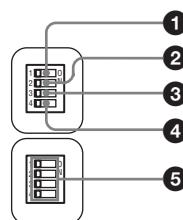
三脚を使用するとき、このネジ穴を使って固定します。

19 BOTTOM スイッチ

RS-232C と RS-422 の切り換えや、ボーレートの切り換え、リモコン信号出力のオン / オフ、カメラアドレスの設定に使用します。

詳しくは「BOTTOM スイッチの設定」をご覧ください。

BOTTOM スイッチの設定



① スイッチ 1 (未使用)

常に OFF でご使用ください。

② スイッチ 2 (RS-232C/RS-422 切換スイッチ)

ON にすると RS-422、OFF にすると RS-232C が選択されます。

③ スイッチ 3 (通信ボーレート切換スイッチ)

ON にするとボーレートが 38400bps になり、OFF にすると 9600bps になります。

④ スイッチ 4 (赤外線出力切換スイッチ)

ON にすると赤外線出力がオンになり、OFF にするとオフになります。

⑤ カメラアドレス設定スイッチ

カメラのアドレスを設定します。

通常は「0」に設定しておきます。「0」に設定すると、リモートコントロールユニット RM-BR300 の RESET ボタンを押しながら POWER ボタンを押すことによって、カメラが接続されている順番にアドレスが自動的に割り振られます。

また、アドレスを手動設定するときは、このスイッチを下記のように「1」～「7」に設定します

アドレス	0	1	2	3	4	5	6	7
スイッチ 1	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
スイッチ 2	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON
スイッチ 3	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON

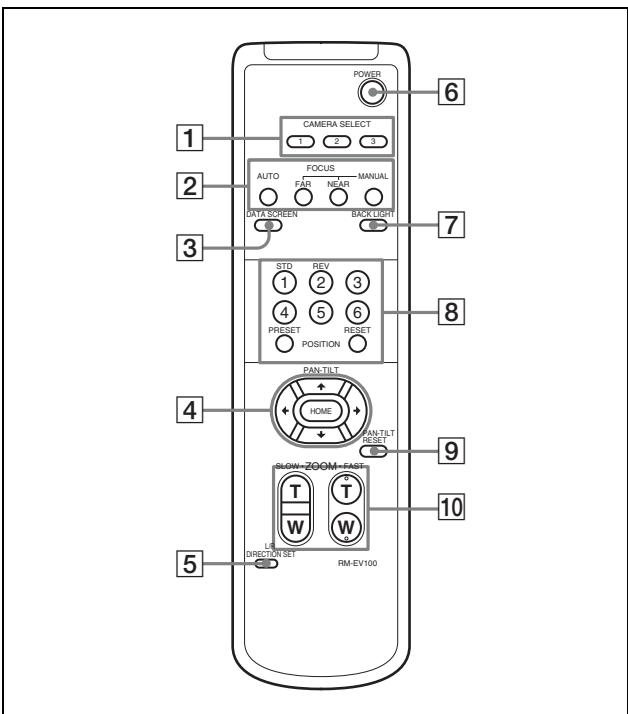
ご注意

スイッチ 4 は未使用です。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

リモコン（付属）



1 CAMERA SELECT ボタン

リモコンで操作したいカメラの番号を押します。カメラ番号は、カメラ背面の IR SELECT スイッチで設定します。

ご注意

近くに同じカメラ番号に設定したカメラがある場合、付属のリモコンで同時に動作してしまいます。近くに設置するカメラは、違うカメラ番号に設定することをお勧めします。

カメラ番号の設定のしかたは、「複数のカメラをリモコンで操作する」（35 ページ）をご覧ください。

2 FOCUS ボタン

ピント合わせに使います。

自動でピントを調節するときは AUTO ボタンを押します。手動で調節するには、MANUAL ボタンを押してから、FAR、NEAR ボタンで調節します。

3 DATA SCREEN ボタン

このボタンを押すと、メインメニューが表示されます。もう一度押すと、メニューが消えます。下層のメニューが表示されているときに押すと、1 つ上層のメニューに戻ります。

ご注意

メニュー表示中は、パン・チルト・ズーム操作はできません。

4 PAN-TILT ボタン

矢印ボタンを押して、パン・チルトします。HOME ボタンを押すと、カメラの向きが正面に戻ります。

5 L/R DIRECTION SET ボタン

このボタンを押しながら REV ボタンを押すと、カメラの動く方向が \blacktriangleleft 、 \triangleright 矢印ボタンの向きと逆になります。もとの設定に戻すときは、このボタンを押しながら STD ボタンを押します。

6 POWER スイッチ

本機がコンセントに接続されているときに、このボタンで電源を入切できます。

7 BACK LIGHT ボタン

逆光補正するとき、このボタンを押します。もう一度押すと、解除されます。

8 POSITION ボタン

PRESET ボタンを押しながら 1 ～ 6 ボタンを押すと、カメラの向きやズーム、ピント調節、逆光補正の設定が押した番号ボタンに記憶されます。記憶を消すときは、RESET ボタンを押しながら、1 ～ 6 ボタンを押します。

9 PAN-TILT RESET ボタン

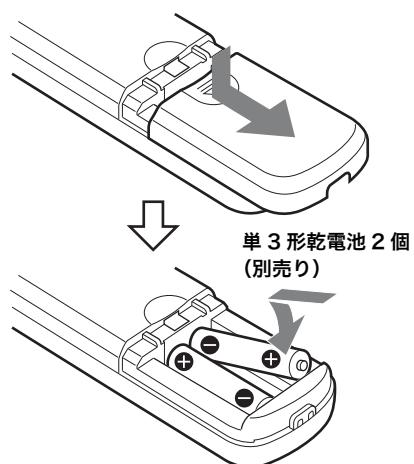
パン・チルト位置をリセットします。

10 ZOOM ボタン

ゆっくりズームするときは SLOW ボタンを、すばやくズームするときは FAST ボタンを使います。

T ボタンを押すと被写体が大きくなり、W ボタンを押すと被写体が小さくなります。

リモコンの電池を入れるには



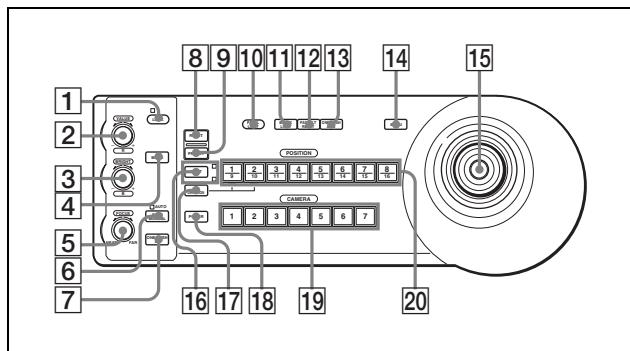
ご注意

破裂の危険性があるため、必ず単3形のマンガン乾電池またはアルカリ乾電池をご使用ください。

リモートコントロールユニット RM-BR300 (別売り)

カメラ BRC-300 と組み合わせた場合の機能を説明します。

前面



1 LOCK ボタンとインジケーター

このボタンを 1 秒以上押すとインジケーターが点灯し、VALUE/R つまみと BRIGHT/B つまみ、FOCUS つまみで設定した調整値がロックされます。(ロックされたつまみのインジケーターは消灯します。) また、AUTO/MANUAL ボタンが動作しなくなります。

LOCK ボタンをもう一度 1 秒以上押すと、ロックが解除されます。

2 VALUE/R つまみ

MODE ボタンで明るさ調整モードを選択しているとき (VALUE の文字が点灯) は、カメラのメニューで優先設定されているモード (SHUTTER、IRIS) の値を調節します。MODE ボタンでホワイトバランス調整モードを選択しているとき (R の文字が点灯) は、R. GAIN (赤ゲイン) を調節します。

VALUE 点灯時のつまみの機能は、MODE ボタンの設定により変化します。詳しくは、「VALUE つまみと BRIGHT つまみの機能一覧」 (42 ページ) をご覧ください。

3 BRIGHT/B つまみ

MODE ボタンで明るさ調整モードを選択しているとき (BRIGHT の文字が点灯) は、カメラのブライトネス (明るさ) などを調節します。

MODE ボタンでホワイトバランス調整モードを選択しているとき (B の文字が点灯) は、B.GAIN (青ゲイン) を調節します。

BRIGHT 点灯時のつまみの機能は、MODE ボタンの設定により変化します。詳しくは、「VALUE つまみと BRIGHT つまみの機能一覧」 (42 ページ) をご覧ください。

4 MODE ボタン

VALUE/R つまみと BRIGHT/L つまみの機能を、明るさ調整またはホワイトバランス調整に切り替えます。

明るさ調整モードのときは、VALUE および BRIGHT の文字が点灯します。

ホワイトバランス調整モードのときは、R および B の文字が点灯します。

5 FOCUS つまみ

左へ回すとピントが合う位置が近くなり、右へ回すと遠くなります。

6 AUTO/MANUAL ボタンと AUTO インジケーター

カメラのフォーカスモードを AUTO または MANUAL に切り替えます。

AUTO を選択すると AUTO インジケーターが点灯し、FOCUS つまみと ONE PUSH AF ボタンが無効となります。

MANUAL を選択すると、FOCUS の文字が点灯し、FOCUS つまみと ONE PUSH AF ボタンが有効となります。

7 ONE PUSH AF ボタン

このボタンを押すと、ワンプッシュオートフォーカス機能が働きます。

8 RESET ボタン

このボタンを押しながら POSITION ボタン 1 ~ 6 を押すと、押したボタンに相当するカメラ内部のメモリー内容がクリアされ、工場出荷時の状態に戻ります。

複数台のカメラを接続しているとき、このボタンを押しながら POWER ボタンを押すと、カメラのアドレスを設定できます。

9 PRESET ボタン

このボタンを押しながら POSITION ボタン 1～6 を押すと、押したボタンに相当するカメラの状態が、そのカメラ内部のメモリーに記憶されます。

10 PANEL LIGHT ボタン

このボタンを押すと、すべての POSITION ボタンと CAMERA ボタンが点灯したり、消灯したりします。

11 BACK LIGHT ボタン

このボタンを押すと、カメラの逆光補正機能が有効になります。もう一度押すと、解除されます。

12 PAN-TILT RESET ボタン

このボタンを押すと、カメラのパン・チルト位置を初期状態にリセットします。

13 ONE PUSH AWB ボタン

カメラの WHITE BALANCE メニューで ONE PUSH (ワンプッシュホワイトバランス) が選択されているとき、このボタンを押すと、ワンプッシュホワイトバランス機能が実行されます。

14 MENU ボタン

カメラのメニューをオン / オフします。

15 ジョイスティック**カメラのメニューがオフのとき**

パン・チルト・ズームを操作します。
ジョイスティックを左右に倒すとパンが実行され、上下に倒すとチルトが実行されます。ジョイスティックを倒す角度によって、パン、チルトの速度が変わります。手を離すと動作が停止します。
ジョイスティック上部のダイヤルを右へ回すと被写体が大きくなり、左へ回すと被写体が小さくなります。
また、カメラのメニューのオン、オフにかかわらず、ジョイスティック上部のボタンを 1～2 秒押すと、カメラの向きが正面に戻ります。

カメラのメニューがオンのとき

メニューを操作します。
ジョイスティックを上下左右に倒すと、リモコンの矢印ボタンと同じ働きをします。
ジョイスティック上部のボタンを押すと、リモコンの HOME ボタンと同じ働きをします。

16 SHIFT ボタンとインジケーター

POSITION ボタンをポジション番号 1～8 として使用するか、ポジション番号 9～16 として使用するかを切り替えます。

上側のインジケーター点灯時は 1～8、下側のインジケーター点灯時は 9～16 になります。

17 L/R DIRECTION ボタン

このボタンを押しながら POSITION ボタン 2 (REV) を押すと、カメラのパンの方向がジョイスティックを倒す方向と逆になります。もとの設定に戻すときは、このボタンを押しながら POSITION ボタン 1 (STD) を押します。

18 POWER ボタン

このボタンを押すと、接続されているカメラの状態に応じて CAMERA ボタンが点灯します。

青：カメラの電源オン

黄緑：カメラスタンバイ

消灯：カメラ未接続

このボタンを押しながら CAMERA ボタン 1～7 を押すと、押した番号のカメラの電源を入切できます。

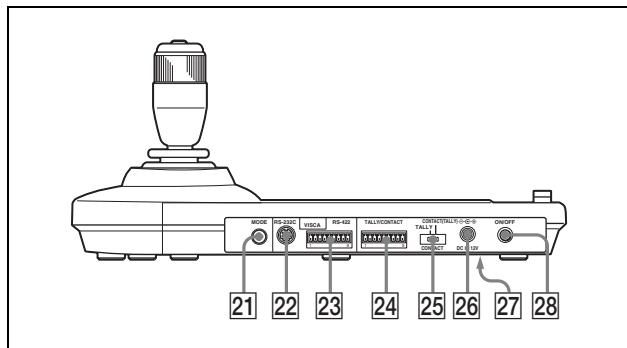
19 CAMERA ボタン

接続されているカメラを選択します。選択したカメラ番号のボタンが青色に点灯します。

20 POSITION ボタン

カメラのパン・チルト・ズーム位置や各種設定をそれぞれのボタンに相当するカメラ内部のメモリーに記憶したり、記憶したメモリー内容を読み出したりします。

背面・底面



21 MODE 切換スイッチ

接続するカメラによってスイッチの位置を切り替えます。

スイッチの位置	カメラモード
0	自動判別（デフォルト）
1	BRC-300
2	MODE 2
3	MODE 3
4	MODE 4

ご注意

- 1～4の設定は、接続したカメラがすべて同じモデルの場合のご使用ください。
- 現在は、カメラモード BRC-300（スイッチの位置：1）のみに対応しています。MODE 2～4は将来の機能拡張用です。

22 VISCA RS-232C 端子

カメラまたはオプチカルマルチプレックスユニット BRU-300 の VISCA RS-232C IN 端子と接続します。

23 VISCA RS-422 端子

カメラまたはオプチカルマルチプレックスユニット BRU-300 の VISCA RS-422 端子と接続します。工場出荷時には、VISCA RS-422 端子台コネクターが取り付けられています。

24 TALLY/CONTACT 端子

外部スイッチャーに接続し、タリーランプ入力、またはコンタクト出力端子として使用します。TALLY/CONTACT スイッチで端子の機能を切り替えます。工場出荷時には、VISCA RS-422 端子台コネクターが取り付けられています。

25 TALLY/CONTACT スイッチ

TALLY/CONTACT 端子の機能を切り替えます。

TALLY：外部スイッチャーで選択したカメラのタリーランプが点灯します。

CONTACT：外部スイッチャーに対し、リモートコントロールユニットで選択したカメラアドレスのコンタクト出力が短絡します。

CONTACT(TALLY)：外部スイッチャーに対し、リモートコントロールユニットで選択したカメラアドレスのコンタクト出力が短絡とともに、外部スイッチャーで選択したカメラのタリーランプを点灯させます。

ご注意

スイッチの設定は、リモートコントロールユニットの電源を入れる前に行ってください。電源を入れたあとで切り換えると、有効になりません。

26 DC IN 12V 端子

付属の AC 電源アダプターを接続します。

27 DIP スイッチ（底面）

スイッチ 1 (RS-232C/RS-422 切換スイッチ)

ON にすると RS-422、OFF にすると RS-232C が選択されます。

スイッチ 2 (通信ボーレート切換スイッチ)

ON にするとボーレートが 38400bps になり、OFF にすると 9600bps になります。

ご注意

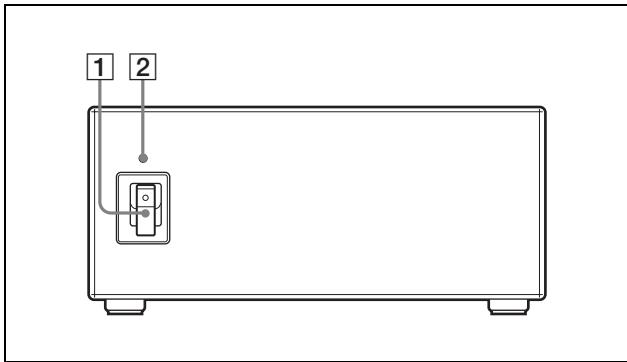
DIP スイッチの設定は、リモートコントロールユニットの電源を入れる前に行ってください。電源を入れたあとで切り換えると、有効になりません

28 ON/OFF スイッチ

リモートコントロールユニットの電源を入切します。

オプチカルマルチプレックスユニット BRU-300 (別売り)

前面



1 電源スイッチ

オプチカルマルチプレックスユニットの電源を入切します。

2 電源インジケーター

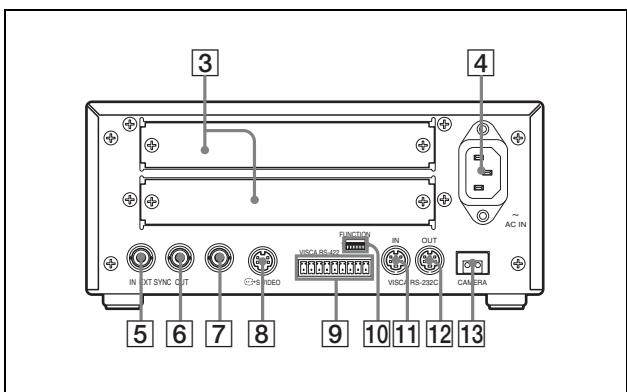
緑色の点灯：正常に動作しています。

赤色の点灯：カメラの電源が切れています。カメラの電源を入れてください。

赤色の点滅：オプチカルマルチプレックスユニットの動作が異常です。モニターにコンポジット映像信号を表示して、エラーメッセージを確認してください。また、接続を確認してください。

エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」(59 ページ)をご覧ください。

背面



3 カードスロット

別売りのインターフェースカード BRBK-301、BRBK-302 を挿入します。

出荷時は、カバーが取り付けてあります。

4 ~AC IN ソケット

付属の電源コードをつなぎます。

5 EXT SYNC IN 端子

外部映像同期信号を入力します。

6 EXT SYNC OUT 端子

外部映像同期信号を出力します。

7 コンポジット映像出力端子

カメラの映像をコンポジット信号として出力します。

8 S VIDEO 端子

カメラの映像を S 映像信号として出力します。

9 VISCA RS-422 端子

カメラまたはオプチカルマルチプレックスユニット BRU-300 の VISCA RS-422 端子と接続します。

VISCA RS-422 端子への接続のしかたは、「VISCA RS-422 端子台コネクターの使いかた」(73 ページ)をご覧ください。

10 VISCA FUNCTION スイッチ

VISCA 通信の設定を行います。

スイッチ 1 (RS-232C/RS-422 切換スイッチ)

ON にすると RS-422、OFF にすると RS-232C が選択されます。

スイッチ 2 (通信ボーレート切換スイッチ)

ON にするとボーレートが 38400bps になり、OFF にすると 9600bps になります。

スイッチ 3～5 (カメラアドレス設定スイッチ)

カメラのアドレスを設定します。

通常は「0」に設定しておきます。「0」に設定すると、リモートコントロールユニット RM-BR300 の RESET ボタンを押しながら POWER ボタンを押すことによって、カメラが接続されている順番にアドレスが自動的に割り振られます。

また、アドレスを手動設定するときは、このスイッチを下記のように「1」～「7」に設定します。

アドレス	0	1	2	3	4	5	6	7
スイッチ 3	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
スイッチ 4	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON
スイッチ 5	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON

ご注意

スイッチ 6 は未使用です。

11 VISCA RS-232C IN 端子

別売りのリモートコントロールユニット RM-BR300 と接続します。複数のカメラを接続するときは、前のカメラの VISCA RS-232C OUT 端子と接続します。

12 VISCA RS-232C OUT 端子

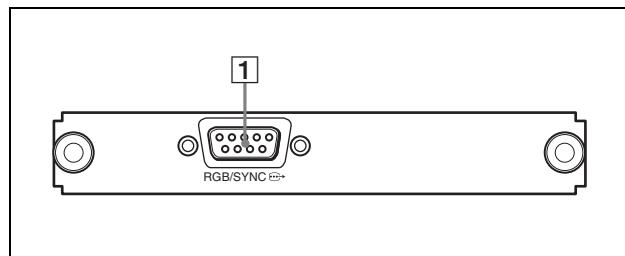
複数のカメラを接続するとき、次のカメラの VISCA RS-232C IN 端子と接続します。

13 CAMERA 端子

光ファイバーケーブル CCFC-M100 を使って、カメラ BRC-300 に挿入したオプチカルマルチプレックスカード BRBK-303 のオプチカル端子と接続します。

出荷時は、防塵キャップが取り付けてあります。

アナログ RGB コンポーネントカード BRBK-301 (別売り)

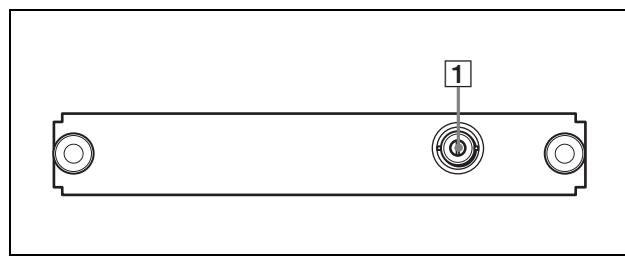


1 RGB/SYNC 端子

各種アナログ信号（コンポジットビデオ、Sビデオ、コンポーネントビデオ、RGB）を出力します。

出力信号の切り替えは、カメラの ANALOG OUT メニューで行います。

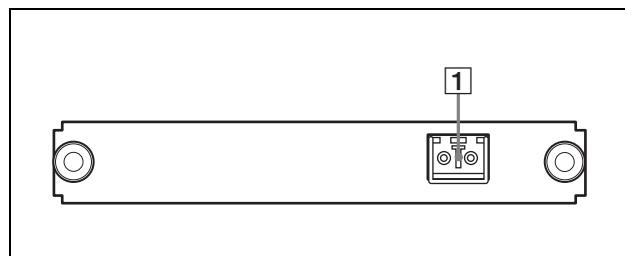
SDI カード BRBK-302 (別売り)



1 SDI 端子

SMPTE259M シリアルデジタルインターフェース規格に準拠した信号を出力します。

オプチカルマルチプレックスカード BRBK-303 (別売り)



1 オプチカル端子

光デジタル多重伝送（映像、外部同期、コントロール信号）を行います。

出荷時は、防塵キャップが取り付けてあります。

メニュー画面の見かた

本機では、撮影の条件や本機のシステムセットアップなどを、外部モニターの画面に表示されるメニューを見ながら設定できます。

実際の操作を始める前にメニュー画面の見かたを説明します。

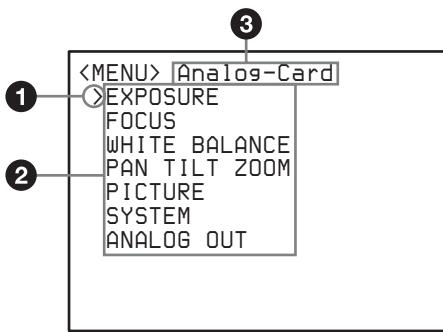
メニュー画面全体の構成については、62 ページをご覧ください。

ご注意

メニュー表示中は、パン・チルト・ズーム操作はできません。

メインメニュー

付属のリモコンの DATA SCREEN ボタン、またはリモートコントロールユニット RM-BR300 の MENU ボタンを押すと、メインメニューが表示されます。



① カーソル

設定メニューを選択します。

リモコンの ▲ または ▼ ボタンを押すか、リモートコントロールユニット RM-BR300 のジョイスティックを上下に倒すと、カーソルが上下に動きます。

② メニュー項目

リモコンの ▲ または ▼ ボタン、またはリモートコントロールユニット RM-BR300 のジョイスティックで設定メニューを選択し、リモコンの HOME ボタン、または RM-BR300 のジョイスティック上部のボタンを押すと、選んだ設定メニューが表示されます。

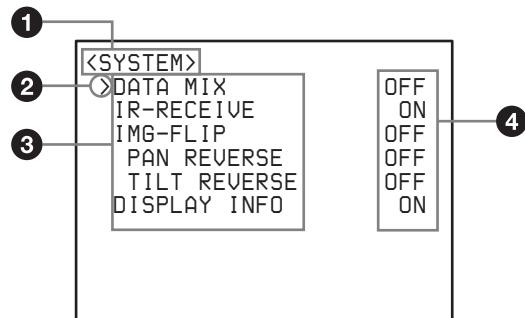
③ オプションカード表示

カメラのカードスロットに挿入されているインターフェースカードの種類を表示します。

(例は、アナログ RGB コンポーネントカード BRBK-301 が挿入されている場合)

設定メニュー

メインメニューで選択した設定メニューが表示されます。



① 設定メニュー

現在選択されているメニュー名が表示されます。

② カーソル

設定項目を選択します。

リモコンの ▲ または ▼ ボタンを押すか、リモートコントロールユニット RM-BR300 のジョイスティックを上下に倒すと、カーソルが上下に動きます。

③ 設定項目

この設定メニューで選択できる設定項目が表示されます。

リモコンの ▲ または ▼ ボタン、またはリモートコントロールユニット RM-BR300 のジョイスティックで設定項目を選択し、◀ または ▶ ボタンを押すか、ジョイスティックを左右に倒して設定値を変更します。

④ 設定値

現在設定されている設定値が表示されます。

リモコンの ◀ または ▶ ボタン、またはリモートコントロールユニット RM-BR300 のジョイスティックで設定を変更します。

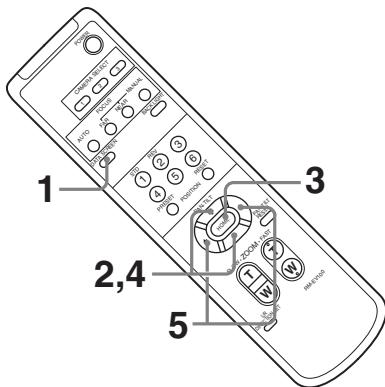
各設定項目の初期設定値については、「メニューの構成」(62 ページ) をご覧ください。

メニューの操作のしかた

ここでは、付属のリモコンを使った操作のしかたと、別売りのリモートコントロールユニット RM-BR300 を使った操作のしかたをそれぞれ説明します。

各メニューについて詳しくは、29～33 ページをご覧ください。

付属のリモコンを使って操作する



- 1 DATA SCREEN ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

```
<MENU> Analog-Card
>EXPOSURE
FOCUS
WHITE BALANCE
PAN TILT ZOOM
PICTURE
SYSTEM
ANALOG OUT
```

- 2 ↑ または ↓ ボタンを押して、変更したいメニューにカーソルを合わせる。
- 3 HOME ボタンを押す。
選んだメニューが表示されます。

```
<SYSTEM>
>DATA MIX          OFF
IR-RECEIVE          ON
IMG-FLIP            OFF
PAN REVERSE         OFF
TILT REVERSE        OFF
DISPLAY INFO        ON
```

- 4 ↑ または ↓ ボタンを押して、変更したい設定項目にカーソルを合わせる。

- 5 ← または → ボタンを押して、設定値を変更する。

<SYSTEM>	
>DATA MIX	ON
IR-RECEIVE	ON
IMG-FLIP	OFF
PAN REVERSE	OFF
TILT REVERSE	OFF
DISPLAY INFO	ON

ご注意

付属のリモコンでメニューを操作している場合は、SYSTEM メニューの IR-RECEIVE を OFF に設定することはできません。IR-RECEIVE を OFF にするには、別売りのリモートコントロールユニット RM-BR300 または VISCA コマンドをご使用ください。

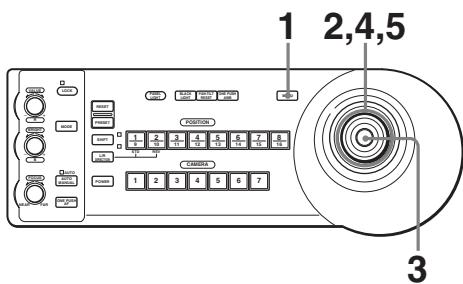
メインメニューへ戻るには

DATA SCREEN ボタンを押します。

メニューを消すには

メインメニューが表示されているときに、DATA SCREEN ボタンを押します。

リモートコントロールユニット RM-BR300 を使って操作する



- 1** MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

```
<MENU> Analog-Card
>EXPOSURE
FOCUS
WHITE BALANCE
PAN TILT ZOOM
PICTURE
SYSTEM
ANALOG OUT
```

- 2** ジョイスティックを上下に倒して、変更したいメニューにカーソルを合わせる。
- 3** ジョイスティック上部のボタンを押す。
選んだメニューが表示されます。

```
<SYSTEM>
>DATA MIX OFF
IR-RECEIVE ON
IMG-FLIP OFF
PAN REVERSE OFF
TILT REVERSE OFF
DISPLAY INFO ON
```

- 4** ジョイスティックを上下に倒して、変更したい設定項目にカーソルを合わせる。

- 5** ジョイスティックを左右に倒して、設定値を変更する。

<SYSTEM>	
DATA MIX	OFF
>IR-RECEIVE	OFF
IMG-FLIP	OFF
PAN REVERSE	OFF
TILT REVERSE	OFF
DISPLAY INFO	ON

メインメニューへ戻るには

MENU ボタンを押します。

メニューを消すには

メインメニューが表示されているときに、MENU ボタンを押します。

EXPOSURE メニュー

露出調整のメニューです。

<EXPOSURE>	
>MODE	FULL AUTO
EX-COMP	OFF
SPOT AE	OFF

MODE (露出モード)

FULL AUTO : 感度、電子シャッター、絞りをすべて使用して、露出を自動調整します。

MANUAL : 感度 (GAIN)、電子シャッター (SPEED)、絞り (IRIS) をそれぞれ手動調整します。

SHUTTER Pri : 感度と絞りを使用して、露出を自動調整します。電子シャッター (SPEED) は手動調整します。

IRIS Pri : 感度と電子シャッターを使用して、露出を自動調整します。絞り (IRIS) は手動調整します。

BRIGHT : ブライトネスレベル (LEVEL) を調整します。

上記のモードを選択すると、下記の設定項目のうち、選択したモードで設定可能な項目が新たに表示されます。

GAIN : 感度を選択します。

-3、0、3、6、9、12、15、18dB から選択できます。

SPEED : 電子シャッターのシャッタースピードを選択します。

1/4、1/8、1/15、1/30、1/60、1/90、1/100、1/125、1/180、1/250、1/350、1/500、1/725、1/1000、1/1500、1/2000、1/3000、1/4000、1/6000、1/10000 秒から選択できます。

IRIS : 絞りを選択します。

CLOSE、F28、F22、F19、F16、F14、F11、F9.6、F8、F6.8、F5.6、F4.8、F4、F3.4、F2.8、F2.4、F2.0、F1.6 から選択できます。

LEVEL : ブライトネスレベルを選択します。

0 ~ 23 から選択できます。

EX-COMP (露出補正)

MODE (露出モード) が FULL AUTO、SHUTTER Pri、IRIS Pri のとき ON にすると、露出補正ができます。

EX-COMP を ON にすると、LEVEL (露出補正レベル) が表示されます。

-10.5、-9、-7.5、-6、-4.5、-3、-1.5、0、1.5、3、4.5、6、7.5、9、10.5dB からレベルを選択できます。

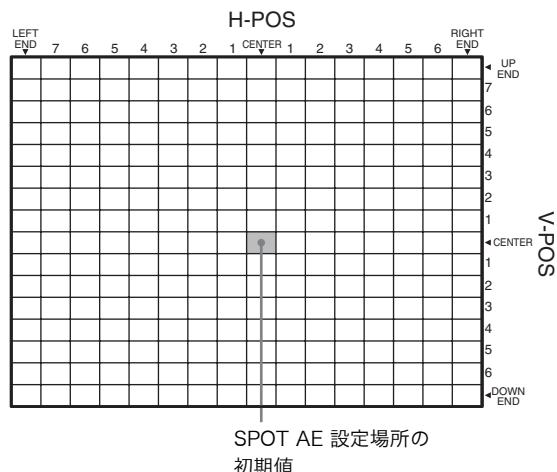
SPOT AE (スポット自動露出調整)

ON にすると、画面を 256 分割して、その 1 つを測光して自動露出調整を行います。撮影したいものが非常に小さいときを使います。

SPOT AE を ON にすると、H-POS (水平位置) と V-POS (垂直位置) が表示されます。測光を行う位置を選択します。以下の値を選択できます。

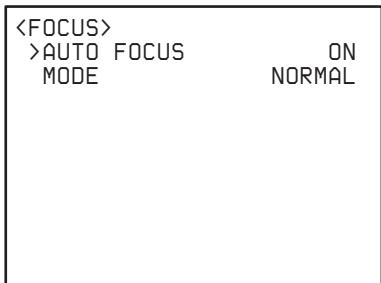
H-POS : LEFT END、LEFT7、LEFT6、LEFT5、LEFT4、LEFT3、LEFT2、LEFT1、CENTER、RIGHT1、RIGHT2、RIGHT3、RIGHT4、RIGHT5、RIGHT6、RIGHT END

V-POS : DOWN END、DOWN6、DOWN5、DOWN4、DOWN3、DOWN2、DOWN1、CENTER、UP1、UP2、UP3、UP4、UP5、UP6、UP7、UP END



FOCUS メニュー

フォーカス調整メニューです。



AUTO FOCUS (自動フォーカス調整)

ON にすると、自動フォーカス調整が実行されます。AUTO FOCUS を ON にすると、MODE (自動フォーカス調整モード) が選択できます。NORMAL (ノーマル)、INTERVAL (インターバル)、ZOOM Trig (ズームトリガー) から選択します。

NORMAL : 通常の AUTO FOCUS 動作を常時行います。

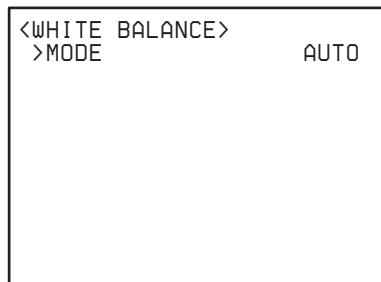
INTERVAL: 設定したインターバル (INT-TIME) ごとに、設定した動作時間中 (ACT-TIME) のみ、AUTO FOCUS 動作を行います。

ZOOM Trig: 設定した動作時間中 (ACT-TIME) にズーム操作を終了したときのみに AUTO FOCUS 動作を行います。

選択した MODE に応じて、自動フォーカス調整を行う ACT-TIME (有効時間) と INT-TIME (間隔) が表示されます。それぞれ、000 ~ 255sec の範囲で選択できます。

WHITE BALANCE メニュー

ホワイトバランス調整メニューです。



MODE (ホワイトバランスモード)

ホワイトバランスモードを選択します。AUTO (自動)、INDOOR (室内)、OUTDOOR (屋外)、ONE PUSH (ワンプッシュ)、MANUAL (手動) から選択できます。

MANUAL を選択すると、R.GAIN (赤ゲイン)、B.GAIN (青ゲイン) が表示されます。それぞれ、0 ~ 255 の範囲で選択できます。

ONE PUSH を選択したときは

画面中央に大きく白い被写体を写し、付属のリモコンの HOME ボタンを押します。これでホワイトバランス調整が実行されます。

PAN TILT ZOOM × ニュー

パン・チルト・ズーム用のメニューです。

<PAN TILT ZOOM>	
>PAN-TILT LIMIT	
PAN	ON
LEFT	END
RIGHT	END
TILT	ON
DOWN	END
UP	END
D-ZOOM	ON
LIMIT	x4

PAN-TILT LIMIT (パン・チルト制限)

PAN を ON にすると LEFT、RIGHT、TILT を ON にすると DOWN、UP が表示され、パン・チルト範囲の制限ができます。以下の設定値を選択できます。

PAN LEFT : LEFT END, +35359 ~ -35241STEP、
200STEP ごとに選択可能

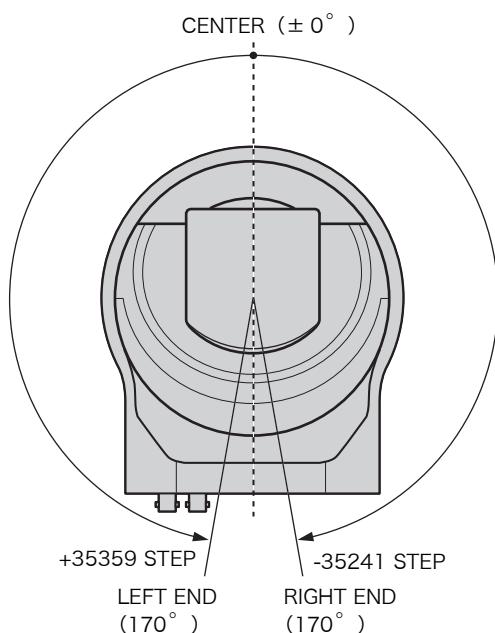
PAN RIGHT : RIGHT END, -35241 ~ +35359STEP、
200STEP ごとに選択可能

TILT DOWN : DOWN END, -06170 ~ +18630STEP、
200STEP ごとに選択可能

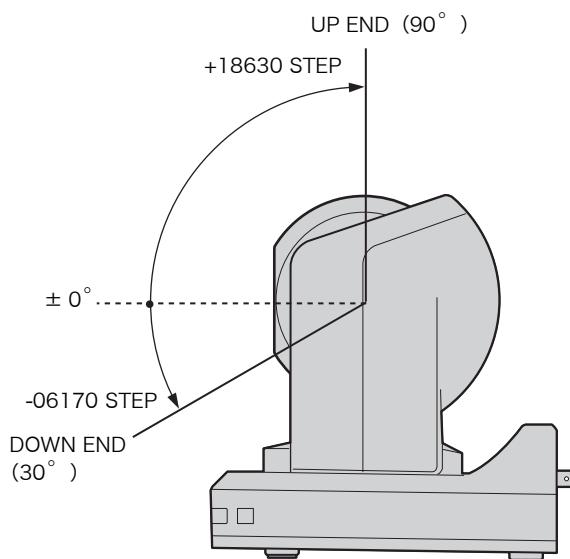
TILT UP : UP END, +18630 ~ -06170STEP、
200STEP ごとに選択可能

1STEP は、0.0048° に相当します。

PAN LEFT/PAN RIGHT の設定範囲



TILT DOWN/TILT UP の設定範囲



メニューで行う調整と設定

ご注意

SYSTEM メニューの IMG-FLP の設定を変更した場合、PAN-TILT LIMIT の設定は工場出荷時の設定に戻ります。

D-ZOOM (デジタルズーム)

ON にすると、LIMIT が表示され、光学ズーム (12 倍) が動作した後、電子ズーム (4 倍または 2 倍) が動作して、最大 48 倍のズームができます。

電子ズームの倍率は、LIMIT で × 2 (2 倍) または × 4 (4 倍) が選択できます。

ご注意

D-ZOOM の ON、OFF にかかわらず、カメラ画像は垂直同期期間分、蓄積され、本機の VIDEO 端子、S VIDEO 端子、およびカードスロットに装着したインターフェースカードの端子から出力されます。

PICTURE メニュー

<PICTURE>	
>EFFECT	OFF
WIDE	OFF
APERTURE	08

EFFECT (効果)

OFF : 効果なし

NEG : カメラの映像がネガポジ反転します。

B&W : カメラの映像が白黒になります。

WIDE (ワイドモード)

ON にすると、カメラの映像が 16:9 になります。

OFF にすると、4:3 になります。

APERTURE (輪郭補正)

輪郭補正レベルを選択します。

MIN、01 ~ 14、MAX から選択できます。

SYSTEM メニュー

<SYSTEM>	
>DATA MIX	OFF
IR-RECEIVE	ON
IMG-FLIP	OFF
PAN REVERSE	OFF
TILT REVERSE	OFF
DISPLAY INFO	ON

DATA MIX (データミックス)

ON にすると、挿入されているインターフェースカードから出力する映像信号に、メニュー画面を重ねて出力します。

IR-RECEIVE (赤外線受光)

OFF にすると、付属のリモコンの信号を受け付けなくなります。

付属のリモコンを使うときは、必ず ON にしてください。

ご注意

付属のリモコンでメニューを操作している場合は、IR-RECEIVE を OFF に設定することはできません。IR-RECEIVE を OFF にするには、別売りのリモートコントロールユニット RM-BR300 または VISCA コマンドをご使用ください。

IMG-FLIP

IMG-FLIP を ON にすると、VIDEO 端子から出力されるカメラの映像が上下反転し、パン・チルト操作によるカメラ映像の移動方向も逆転します。

PAN REVERSE を ON にすると、映像の移動方向が左右方向に逆転します。

TILT REVERSE を ON にすると、映像の移動方向が上下方向に逆転します。

IMG-FLIP を ON にすると、「Pleases restart system」と表示されます。一度カメラの電源を切って、入れ直してください。

ご注意

IMG-FLIP の ON、OFF にかかわらず、カメラ画像は2倍の垂直同期期間分（2フィールド）、蓄積され、本機のVIDEO 端子、S VIDEO 端子、およびカードスロットに装着したインターフェースカードの端子から出力されます。

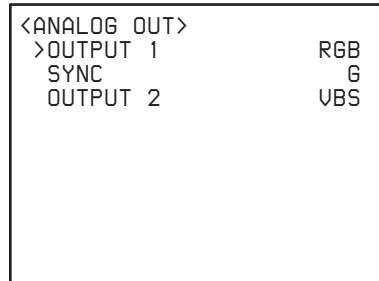
DISPLAY INFO

付属のリモコンで POSITION1 ~ 6 にカメラの状態を記録させると、画面に「PRESET No. xx」が自動的に約2秒間、表示されます。

カメラを操作するたびにこの表示を行うときは、DISPLAY INFO を ON にします。OFF にすると表示は中止されます。

ANALOG OUT × メニュー

カメラのカードスロットに、アナログ RGB コンポーネントカード BRBK-301 が挿入されているときのみ、このメニューが表示されます。



OUTPUT 1 (出力 1)

アナログ RGB コンポーネントカードの 9 ピン D サブコネクターのピン 3、4、5 から出力される信号を選択します。

RGB にすると RGB 信号、YCrCb にするとコンポーネント信号が出力されます。

RGB を選択すると、SYNC が表示され、同期信号が選択できます。G、RGB、OFF から選択します。

OUTPUT 2 (出力 2)

アナログ RGB コンポーネントカードの 9 ピン D サブコネクターのピン 6 から出力される信号を選択します。

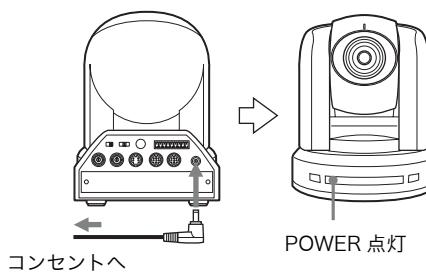
VBS にするとコンポジット信号、Y/C にすると S 映像信号が出力されます。

付属のリモコンを使った操作

操作を行う前に、本機および周辺機器が正しく設置、接続されているか確認してください。

詳しくは、「設置する」(45 ページ) および「接続する」(51 ページ) をご欄ください。

電源を入れる

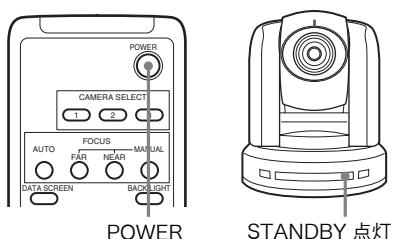


- 1 付属の AC 電源アダプターと電源コードを使ってカメラをコンセントにつなぐ。
電源が入り、POWER ランプが点灯します。
電源を入れると、カメラは自動的にパン・チルト動作をして、POSITION 1 に記憶された位置になります。(パン・チルトリセット)。
- 2 その他の周辺機器の電源を入れる。

リモコンで電源を入れ切するには

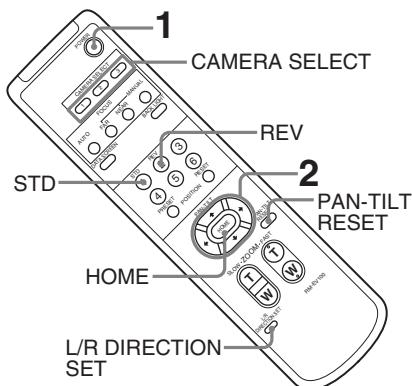
カメラをコンセントにつないでいるときは、リモコンの POWER スイッチで電源の入切ができます。

リモコンで電源を切ると、POWER ランプは消え、STANDBY ランプが点灯します。



パン・チルト・ズームを操作する

パン・チルトする



- 1 POWER スイッチを押す。
電源が入って、カメラは自動的にパン・チルトリセット動作をします。
- 2 矢印ボタンを押してパン・チルトする。
画面を見ながら、見たい方向の矢印ボタンを押します。
細かく動かすには、短く押します。
大きく動かすには、長く押し続けます。
斜めに動かすには、↑ または ↓ ボタンを押しながら ← または → ボタンを押します。

カメラの向きを正面に戻すには

HOME ボタンを押します。

カメラの向きを手で動かしてしまったら

PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットします。

カメラの動きと見たい方向の矢印ボタンが違うときは

通常、**▶**ボタンを押すとカメラは右方向に動くよう設定されています。画面を見ながらカメラの向きを変えるときなど、カメラの動きを左右逆にしたい場合は、L/R DIRECTION SETボタンを押しながら2(REV)ボタンを押します。もとの設定に戻すときは、L/R DIRECTION SETボタンを押しながら1(STD)ボタンを押します。

矢印ボタン	カメラの動き	設定方法
		L/R DIRECTION SET 押しながら STD 1 押す
		L/R DIRECTION SET 押しながら REV 2 押す

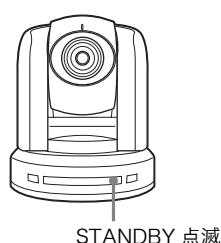
ご注意

上記の設定はリモコンの発信信号を変えているだけで、カメラ本体の設定を変えているのではありません。複数のリモコンを使うときは、リモコンごとに設定してください。

カメラのSTANDBYランプが点滅したら

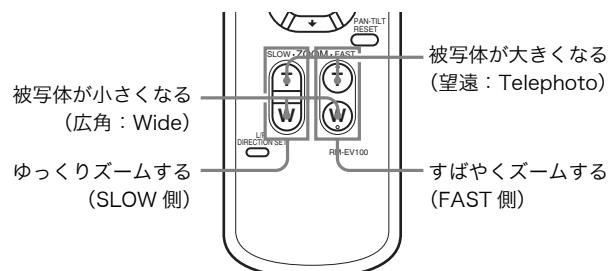
外力でカメラが動かされたときや、物や指をはさんだ場合など、カメラのマイコンがカメラのパン・チルト位置を正しく記憶していないことがあります。カメラの動きが自動停止します。

PAN-TILT RESETボタンを押してパン・チルト位置をリセットするか、一度電源を切り、再度電源を入れてください。



ズームする

ZOOMボタンを押します。



ご注意

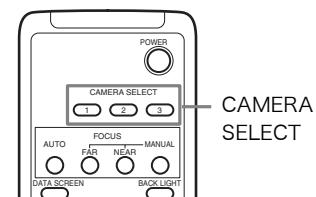
望遠にした状態でパン・チルト動作をすると、画面上、動作速度が一定でないように見えることがあります。

複数のカメラをリモコンで操作する

1 操作したいカメラ後面のIR SELECTスイッチを1、2、3のどれかに合わせる。



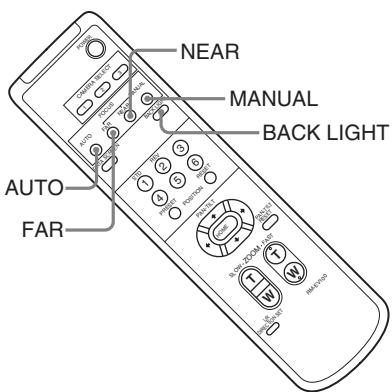
2 1で設定した番号と同じ番号のCAMERA SELECTボタン(リモコン)を押す。



これで、特定のカメラをリモコンから操作できるようになります。

リモコンからカメラを操作するたびに、手順2で押したCAMERA SELECTボタンが点灯します。

カメラを調節する



ピントを合わせる

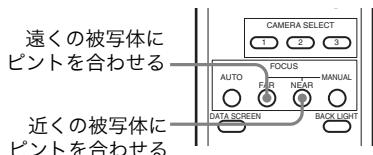
自動でピントを調節するには

AUTO ボタンを押します。

自動的に画面中央部の被写体にピントが合います。

手動でピントを調節するには

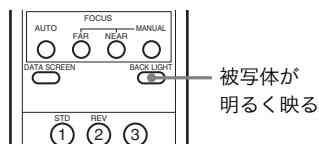
MANUAL ボタンを押してから、FAR ボタンまたは NEAR ボタンで調節します。



逆光を補正する

被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映る場合など BACK LIGHT ボタンを押します。

解除するには、もう一度 BACK LIGHT ボタンを押します。



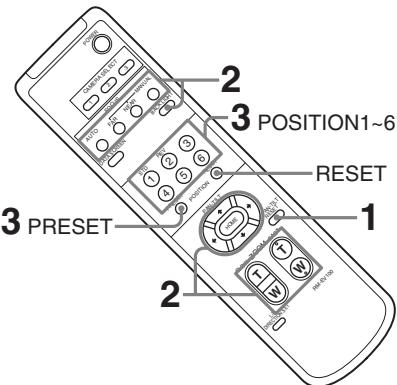
ご注意

BACK LIGHT が有効になるのは、EXPOSURE メニューの MODE を FULL AUTO に設定した場合のみです。

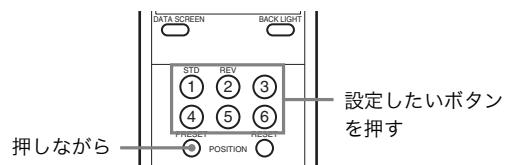
カメラの状態を記憶させる—プリセット機能

カメラの向きや、ズーム、ピント調節、逆光補正の入切などを 6 種類まで記憶できます。

記憶できる設定項目については、「プリセット項目」（64 ページ）をご覧ください。



- 1 PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットする。
- 2 カメラの向き、ズーム、ピント、逆光補正を調節する。（35、36 ページ参照）
- 3 PRESET ボタンを押しながら、POSITION 1 ~ 6 ボタンの中から 1 つ選んで押す。



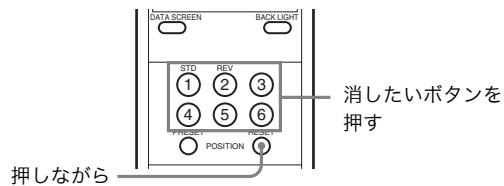
コンポジットビデオ出力および S ビデオ出力から、選んだ PRESET ボタンの番号「PRESET No.xx」が約 2 秒間表示されます。

記憶させた状態にするには

POSITION 1 ~ 6 ボタンの中から 1 つ選んで押します。

記憶を消すには

RESET ボタンを押しながら、POSITION 1 ~ 6 ボタンの中から記憶を消したいボタンを選んで押します。



ご注意

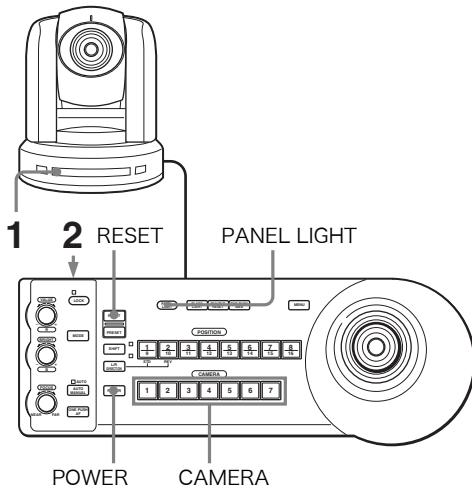
- ・電源を入れたときは、POSITION 1 に記憶された設定内容で起動します。
- ・電源を一度切ってから再度入れたときに、電源を切る前のカメラの状態やパン・チルト位置を反映させたいときは、POSITION 1 に設定を記憶させてください。
- ・POSITION 1 への記憶設定、記憶消去は、他の POSITION よりも、2 秒程度時間が多くかかります。
- ・POSITION への記憶設定中または記憶消去中は、他の POSITION の記憶呼び出し、設定、消去はできません。

リモートコントロールユニット RM-BR300 を使った操作

操作を行う前に、本機とリモートコントロールユニット RM-BR300 および周辺機器が正しく設置、接続されているか確認してください。

詳しくは、「設置する」(45 ページ) および「接続する」(51 ページ) をご覧ください。

電源を入れる



- 1 付属のAC電源アダプターと電源コードを使ってカメラをコンセントにつなぐ。
電源が入り、POWER ランプが点灯します。
電源を入れると、カメラは自動的にパン・チルト動作をして、POSITION1 に記憶された位置になります(パン・チルトリセット)。
- 2 リモートコントロールユニット RM-BR300 のON/OFF スイッチを押して、電源を入れる。
前回リモートコントロールユニットの電源を切る際に選択されていた番号のCAMERA ボタンが点灯します。
(お買い上げ後、初めて電源を入れたときは1ボタンが点灯します。)
- 3 その他の周辺機器の電源を入れる。

ご注意

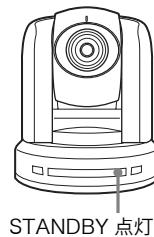
カメラの電源は、リモートコントロールユニットの電源より先に入れてください。カメラの電源を後で入れると、リモートコントロールユニットで接続を認識できません。

リモートコントロールユニット RM-BR300 で電源を入切するには

カメラをコンセントにつないでいるときは、リモートコントロールユニットのPOWER ボタンでカメラの電源の入切ができます。

POWER ボタンを押しながら、電源を入切したいカメラのCAMERA ボタンを押します。

リモートコントロールユニットで電源を切ると、カメラのPOWER ランプは消え、STANDBY ランプが点灯します。



リモートコントロールユニットのパネルを 照明するには

PANEL LIGHT ボタンを押します。すべてのPOSITION ボタンと CAMERA ボタンが点灯します。

照明を消すには、もう一度PANEL LIGHT ボタンを押します。



複数のカメラを操作する

操作の前に、接続したカメラにアドレスを割り当てます。といったんアドレスを割り当てれば、CAMERA ボタンを押すだけで、操作するカメラを切り換えることができます。

カメラアドレスを自動的に割り当てるには

- 1 各カメラの底面のカメラアドレス設定スイッチが0に設定されていることを確認する。
カメラアドレス設定スイッチについては、19 ページをご覧ください。
- 2 すべてのカメラとリモートコントロールユニット RM-BR300 の電源を入れる。

- 3** リモートコントロールユニットの RESET ボタンを押しながら POWER ボタンを押す。

カメラの接続が認識され、接続されている順番に各カメラに 1 ~ 7 のカメラアドレスが自動的に割り当てられます。

- 4** リモートコントロールユニットの POWER ボタンを押して、CAMERA ボタンが点灯することを確認する。
カメラアドレスが割り当てられたカメラの数だけ CAMERA ボタンが点灯します。
これで CAMERA ボタンを押すだけで、カメラを切り換えることができます。

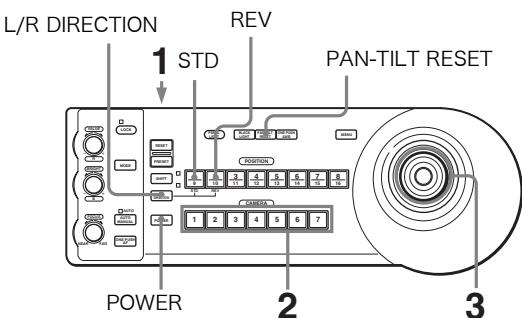
カメラアドレスを手動で割り当てるには

各カメラの底面のカメラアドレス設定スイッチでカメラアドレス 1 ~ 7 を設定します。

カメラアドレス設定スイッチの設定のしかたは、19 ページをご覧ください。

パン・チルト・ズームを操作する

パン・チルトする



- 1** カメラとリモートコントロールユニット RM-BR300 の電源を入れる。
カメラの電源が入り、カメラは自動的にパン・チルトリセッタ動作をします。
- 2** CAMERA ボタンを押して、操作したいカメラを選ぶ。
- 3** ジョイスティックを使ってパン・チルトする。
画面を見ながら、見たい方向にジョイスティックを倒します。
ジョイスティックを倒す角度によって、パン・チルトの速度が変わります。
手を離すと、動作が停止します。

カメラの向きを正面に戻すには

ジョイスティック上部のボタンを 1 ~ 2 秒押します。

1 ~ 2 秒押す

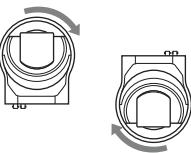
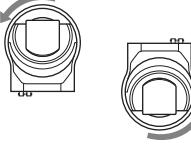


カメラヘッド部の向きを手で動かしてしまったら

PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットします。

カメラの動きとジョイスティックを倒す方向が違うときは

通常、ジョイスティックを右へ倒すとカメラは右方向に動くよう設定されています。画面を見ながらカメラの向きを変えるときなど、カメラの動きを左右逆にしたい場合は、CAMERA ボタンでカメラを選び、L/R DIRECTION ボタンを押しながら POSITION 2 (REV) ボタンを押します。もとの設定に戻すときは、L/R DIRECTION ボタンを押しながら POSITION 1 (STD) ボタンを押します。

ジョイスティック	カメラの動き	設定方法
右へ倒すと 		押しながら  1 STD 押す
右へ倒すと 		押しながら  2 REV 押す

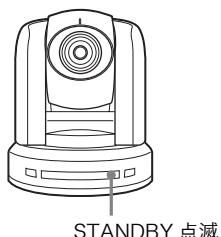
ご注意

上記の設定はリモートコントロールユニット RM-BR300 からの出力信号を変えているだけで、カメラ本体の設定を変えているのではありません。

カメラの STANDBY ランプが点滅したら

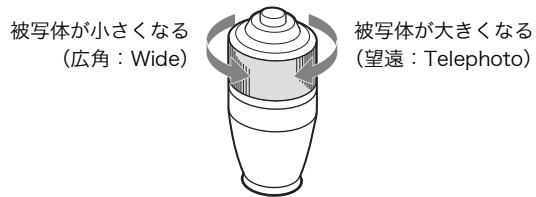
外力でカメラが動かされたときや、物や指をはさんだ場合など、カメラのマイコンがカメラのパン・チルト位置を正しく記憶していないことがあります。

PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットします。



ズームする

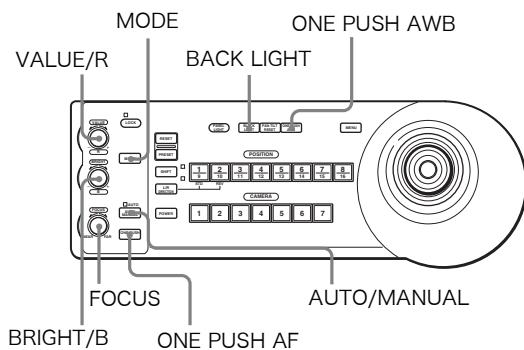
ジョイスティック上部のダイヤルを左右に回します。



ご注意

望遠にした状態でパン・チルト動作をすると、画面上、動作速度が一定でないように見えることがあります。

カメラを調節する



ピントを合わせる

自動でピントを調節するには

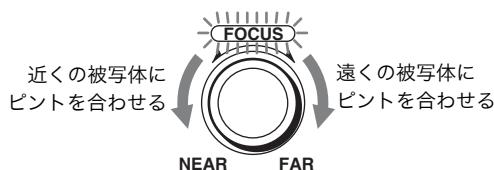
AUTO/MANUAL ボタンを押して、AUTO インジケーターを点灯させます。

自動的に画面中央部の被写体にピントが合います。



手動でピントを調節するには

AUTO/MANUAL ボタンを押して AUTO インジケーターを消してから、FOCUS つまみを左右に回して調節します。



手動調整中にワンタッチでピントを自動調節するには

ONE PUSH AF ボタンを押します。自動的に画面中央部の被写体にピントが合います。



逆光を補正する

被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映る場合など BACK LIGHT ボタンを押します。

解除するには、もう一度 BACK LIGHT ボタンを押します。



ご注意

BACK LIGHT が有効になるのは、EXPOSURE メニューの MODE を FULL AUTO に設定した場合のみです。

ホワイトバランスを調節する

被写体と同じ照明条件のところに白いものを置き、ズームアップして画面に白を映します。(白壁などでも代用できます。)

この白を使って、ホワイトバランスを調節します。

自動でホワイトバランスを調節するには

1 WHITE BALANCE メニューの MODE を ONE PUSH に設定する。

設定のしかたは、「WHITE BALANCE メニュー」(30 ページ)をご覧ください。

2 ONE PUSH AWB ボタンを押す。
自動的にホワイトバランスを調節します。



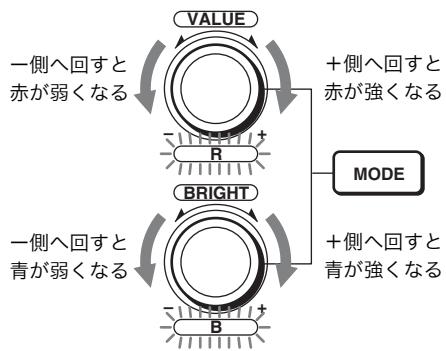
手動でホワイトバランスを調節するには

1 WHITE BALANCE メニューの MODE を MANUAL に設定する。

設定のしかたは、「WHITE BALANCE メニュー」(30 ページ)をご覧ください。

2 MODE ボタンを押して、VALUE/R つまみと BRIGHT/B つまみの R、B の文字を点灯させる(ホワイトバランス調節モード)。

- 3 R つまみで赤のゲイン、B つまみで青のゲインを調節する。



VALUE つまみと BRIGHT つまみの機能一覧

VALUE つまみと BRIGHT つまみの機能は、EXPOSURE メニューの MODE 設定によって次のように変わります。

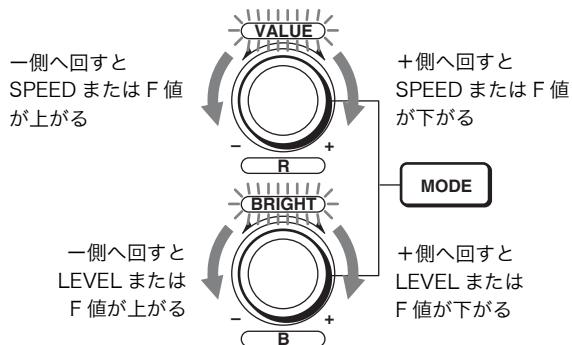
MODE の設定	VALUE つまみの機能	BRIGHT つまみの機能
FULL AUTO	(未使用)	EX-COMP LEVEL 調整 (EXPOSURE メニューの EX-COMP が ON のとき)
SHUTTER Pri	SHUTTER SPEED 調整	
IRIS Pri	IRIS 調整	
BRIGHT	(未使用)	BRIGHT LEVEL 調整
MANUAL	SHUTTER SPEED 調整	IRIS 調整

明るさを調節する

- 1 EXPOSURE メニューの MODE を SHUTTER Pri、または IRIS Pri、BRIGHT、MANUAL に設定する。

設定のしかたは、「EXPOSURE メニュー」(29 ページ)をご覧ください。

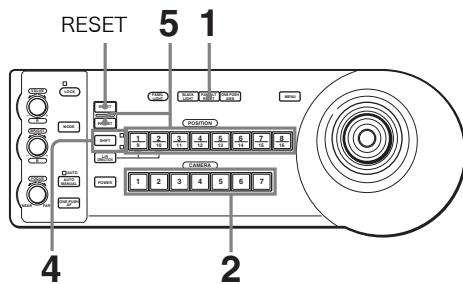
- 2 MODE ボタンを押して、VALUE/R つまみと BRIGHT/B つまみの VALUE と BRIGHT の文字を点灯させる(明るさ調節モード)。
- 3 VALUE つまみ、または BRIGHT つまみで明るさを調節する。



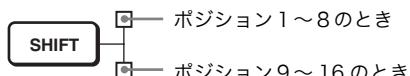
カメラの状態を記憶させる—プリセット機能

リモートコントロールユニット RM-BR300 を使って、カメラの向きや、ズーム、ピント調節、逆光補正の入/切などを 16 種類（16 ポジション）までカメラ内部のメモリーに記憶させることができます。記憶できるポジション数は、カメラの機種により異なります。BRC-300 の場合は、6 ポジションまで記憶できます。

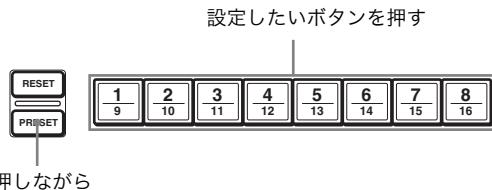
記憶できる設定項目については、「プリセット項目」（64 ページ）をご覧ください。



- 1 PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットする。
- 2 CAMERA ボタンを押してカメラを選択する。
- 3 カメラの向き、ズーム、ピント、逆光補正などを調節する。（39、41 ページ参照）
- 4 SHIFT ボタンを押して、POSITION 1～8 ボタンの機能を切り換える。
8 種類以下のポジションを記憶させるときは、上のインジケーターを点灯させ、POSITION 1～8 ボタンをポジション 1～8 用に使います。
9～16 種類のポジションを記憶させるときは、下側のインジケーターを点灯させ、POSITION 1～8 ボタンをポジション 9～16 用に使います。



- 5 PRESET ボタンを押しながら、POSITION 1～8 ボタンの中から 1 つ選んで押す。



カメラの状態がカメラ内部のメモリーに記憶されます。

記憶中は押したボタンが点滅します。記憶が完了すると点滅が止まります。

記憶させた状態にするには

SHIFT ボタンを押して POSITION 1～8 ボタンの機能を切り換えてから、POSITION 1～8 ボタンの中から 1 つ選んで押します。

記憶を消すには

SHIFT ボタンを押して POSITION 1～8 ボタンの機能を切り換え、RESET ボタンを押しながら、POSITION 1～8 ボタンの中から記憶を消したいボタンを選んで押します。



記憶消去中は押したボタンが点滅します。消去が完了すると点滅が止まります。

ご注意

- ・電源を入れたときは、POSITION 1 に記憶された設定内容で起動します。
- ・電源を一度切ってから再度入れたときに、電源を切る前のカメラの状態やパン・チルト位置を反映させたいときは、POSITION 1 に設定を記憶させてください。
- ・POSITION への記憶設定中または記憶消去中は、他の POSITION の記憶呼び出し、設定、消去はできません。

ポジション移動時の速度を設定する

プリセットしたポジションへカメラが移動するときのパン・チルト速度を設定できます。

- 1 CAMERA ボタンを押してカメラを選択する。
- 2 移動速度を設定したい POSITION ボタンを 1 秒以上押す。
CAMERA ボタン 1 ~ 7 がすべて点滅します。
- 3 設定したい速度に対応した CAMERA ボタンを押す。

CAMERA ボタン	パン・チルト速度
1	1 度 / 秒
2	2.2 度 / 秒
3	4.8 度 / 秒
4	11 度 / 秒
5	23.3 度 / 秒
6	43 度 / 秒
7	60 度 / 秒 (デフォルト)

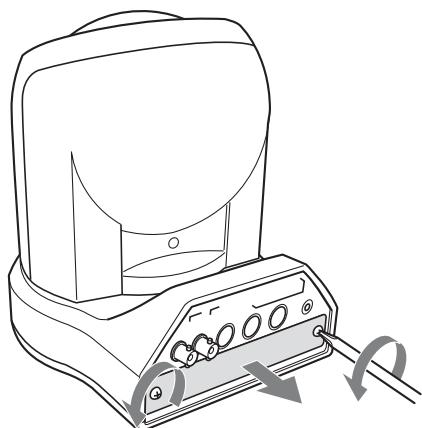
これで、カメラが移動するときの速度が設定されました。

設置する

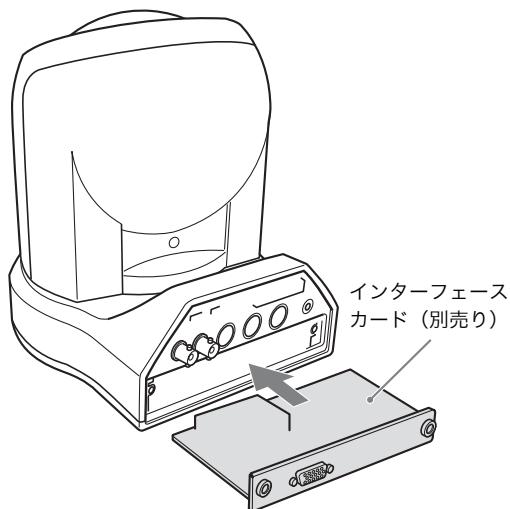
インターフェースカードを取り付ける

後面のカードスロットへ別売りのインターフェースカードを取り付けます。

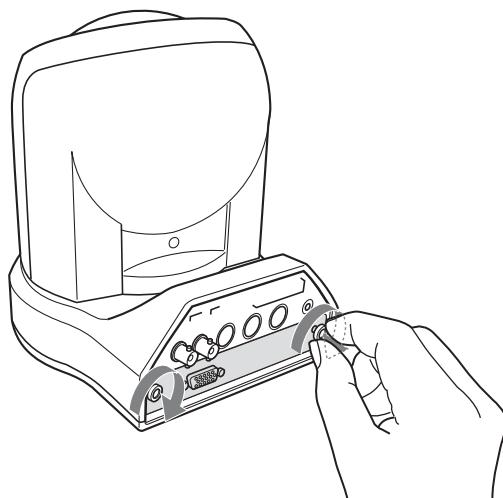
- 1 ネジを2本ゆるめ、カバーを取り外す。



- 2 別売りのインターフェースカードを挿入する。
両側のスライドレールに基板の端を合わせ、奥まで
しっかりと挿入してください。



- 3 両側のネジを締める。



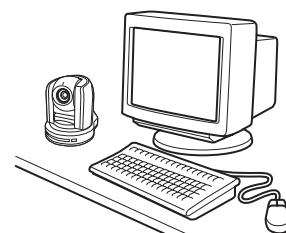
インターフェースカードを取り外すには

インターフェースカード両側のネジをゆるめ、水平に
ゆっくりと引き抜きます。

カメラを設置する

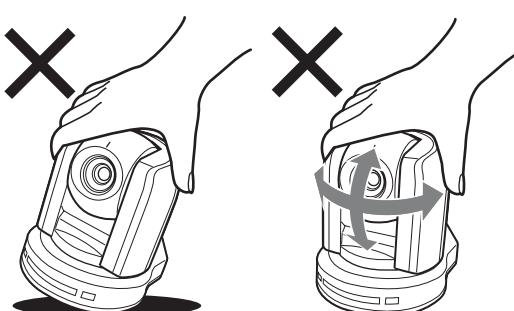
デスクトップへ設置するには

カメラ本体は、平らなところに置きます。
やむを得ず傾いたところに設置するときは、パン・チルト動作性能を保証するため、水平に対して±15°以内の
ところに設置してください。



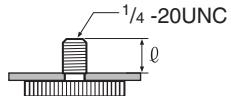
ご注意

- 設置する際は落下防止処置を施してください。
- 持ち運ぶときは、カメラヘッド部を持たないでください。
- カメラヘッド部をパン方向やチルト方向へ手で回さないでください。故障の原因となります。



三脚に取り付けるには

底面の三脚取り付け用ネジ穴に三脚を取り付けます。三脚は、段差のない平面に取り付け、手でしっかりと締め付けてください。三脚取り付け用のネジは、次の規格のものを使用してください。



$$l = 4.5 \sim 7 \text{ mm}$$

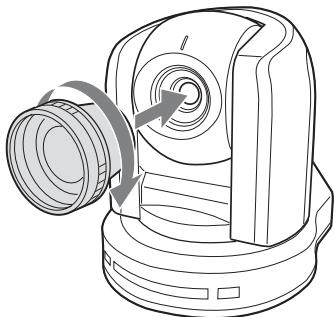
$$l = 0.18 \sim 0.27 \text{ インチ}$$

⚠️ 警告

三脚用ネジによる固定は、高所への設置には使用しないでください。

ワイドコンバージョンレンズを取り付けるには

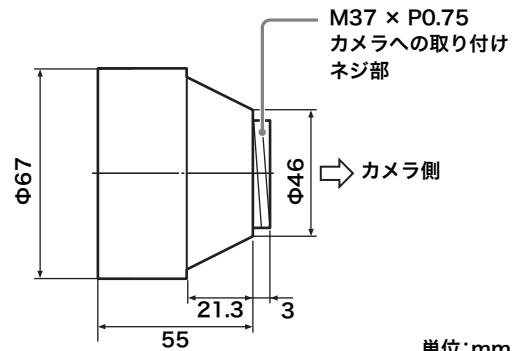
本カメラのレンズ部分にはネジが切ってあります。使用するワイドコンバージョンレンズをレンズ部のネジに合わせ、右に回してしっかりと取り付けます。



使用可能なワイドコンバージョンレンズ

重量: 200 g 以下

寸法: 下図の大きさ以内



単位:mm

ワイドコンバージョンレンズ使用時は、ケラレが発生することがあります。

⚠️ 警告

ワイドコンバージョンレンズの落下防止のため、以下の点にご注意ください。

- 専門の工事業者に依頼してワイドコンバージョンレンズの落下防止処置を行ってください。
- レンズが根元までしっかりと締まっており、落下しないことを確認してください。
- 振動や衝撃を受ける環境では使用しないでください。
- 1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

高所へ設置する

付属のシーリングブラケットとワイヤーロープ、ネジを使って、既存の天井のジャンクションボックスや高い所に設置した棚や台などにカメラを取り付けることができます。

設置する際には、水平な天井や棚などに設置してください。やむを得ず傾きのあるところに設置する場合は、パン・チルト動作性能を保証するため、傾きが水平面に対して $\pm 15^\circ$ 以内のところに設置してください。

⚠️ 警告

- 天井や高所の棚などに設置する場合は、専門の工事業者に依頼してください。
- 設置は、天井や棚、および使用する取り付け部材が、本体とシーリングブラケットを含む重量（40 kg 以上）に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと落下して大けがの原因となります。
- 落下事故防止のため、付属のワイヤーロープは必ず取り付けてください。
- 天井や高所の棚などへ設置した場合は、1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

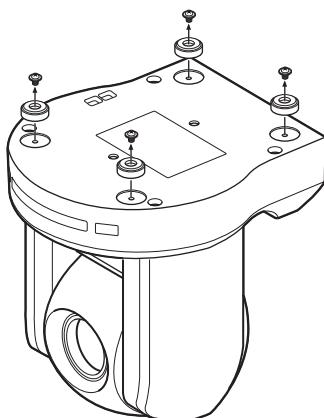
設置する前に

接続ケーブルは、シーリングブラケット（A）の中を通して配線できません。天井や棚などの本体後部の位置に配線用の穴が必要です。また、天井に設置する場合は、天井にジャンクションボックス用の穴を、高所の棚などに設置する場合は、棚などにシーリングブラケットの突起用の穴を開けておきます。シーリングブラケット用には、直径 70 mm 程度の穴が必要です。

カメラの撮影方向を決めてから各穴を開けてください。

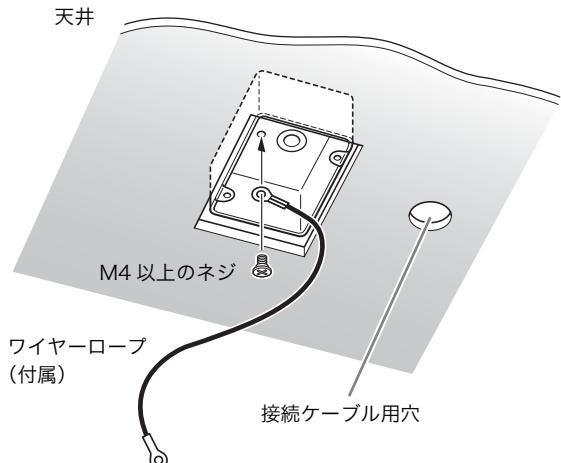
天井への設置（設置例）

- SYSTEM メニューの IMG-FLIP を ON にする。
- カメラ底面のネジをゆるめて脚 4 本を取り外す。



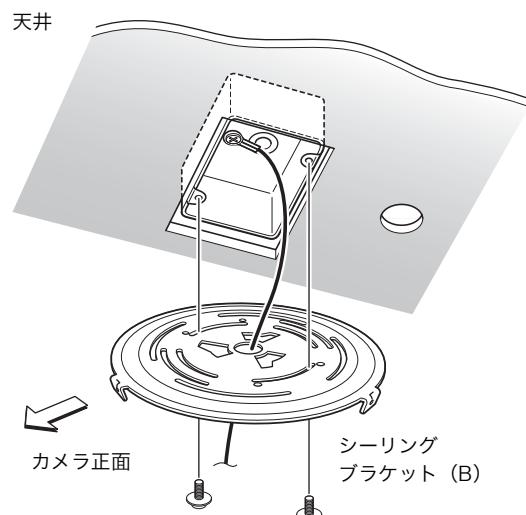
- 天井のジャンクションボックスへワイヤーロープを取り付ける。

取り付けネジは、外径が M4 以上のネジ（付属していません）をお使いください。

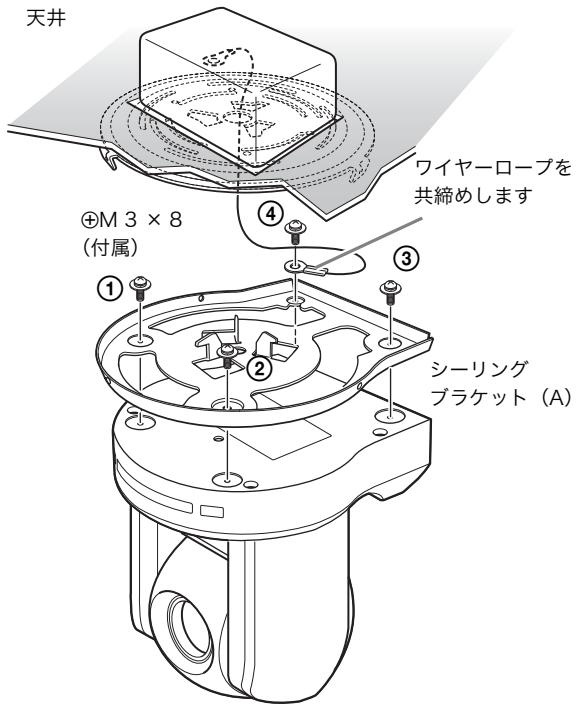


- シーリングブラケット（B）を天井のジャンクションボックスに取り付ける。ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジ（付属していません）をお使いください。

シーリングブラケット（B）のネジ穴の 1 つが、あとでカメラの正面になる位置です。カメラが正面を向くよう、シーリングブラケットの向きを調整して取り付けてください。



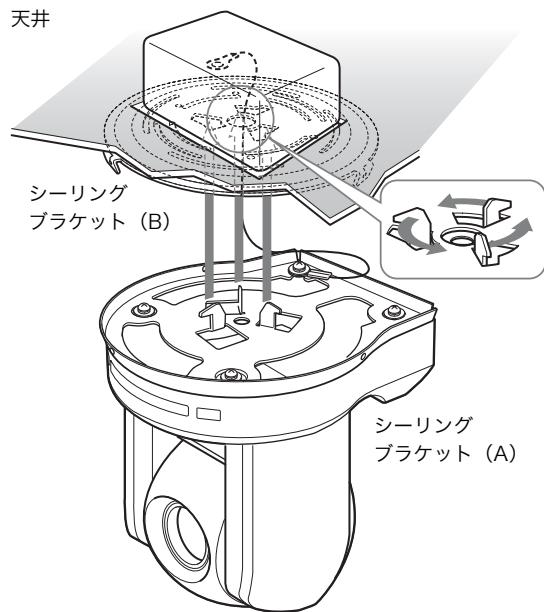
- 5 シーリングブラケット (A) を付属のネジ ($\oplus M3 \times 8$) 4 本でカメラの底面に取り付ける。ブラケットのネジ穴をカメラ本体の穴に合わせて取り付けます。ネジは図中の番号順に仮止めしてください。
④はワイヤーロープと共に締めします。仮止めが終わったら、それぞれのネジをしっかりと締めてください。



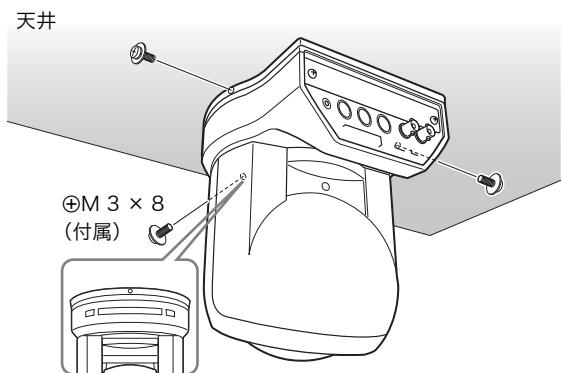
ご注意

取り付けネジは付属のネジをご使用ください。付属品以外のネジを使用した場合、本体内部を破損する恐れがあります。

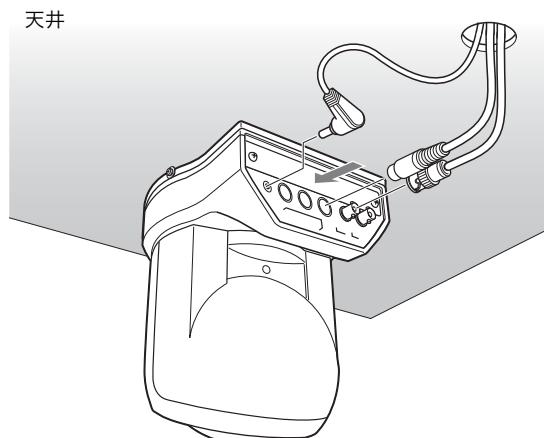
- 6 シーリングブラケット (A) の突起をシーリングブラケット (B) の穴に差し込み、シーリングブラケット (A) をカメラごと右方向へ回して仮固定する。



- 7 付属のネジ ($\oplus M3 \times 8$) 3 本でシーリングブラケット (A) と (B) を固定する。



- 8 カメラ背面の端子にケーブルを接続する。



ご注意

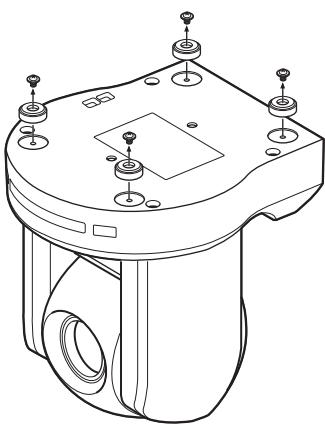
接続したケーブル類は接続部に負荷がかからないように処理してください。

カメラの外しかた

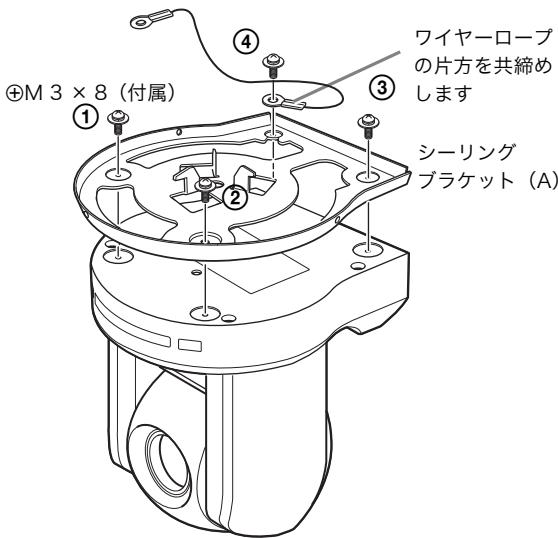
- 1 「天井への設置（設置例）」の手順 7 で、カメラを固定したネジ 3 本を外す。
- 2 カメラ全体を左方向へ回して外す。

高所の棚などへの設置（設置例）

- 1 カメラ底面のネジをゆるめて脚 4 本を取り外す。



- 2 シーリングブラケット（A）を付属のネジ（ \oplus M3 × 8）4 本でカメラの底面に取り付ける。ブラケットのネジ穴をカメラ本体の穴に合わせて取り付けます。ネジは図中の番号順に仮止めしてください。
④ は付属のワイヤーロープと共に締めします。仮止めが終わったら、それぞれのネジをしっかりと締めてください。

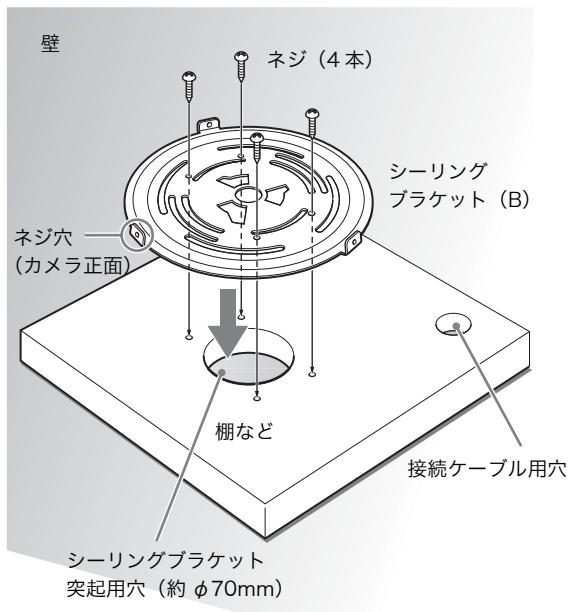


ご注意

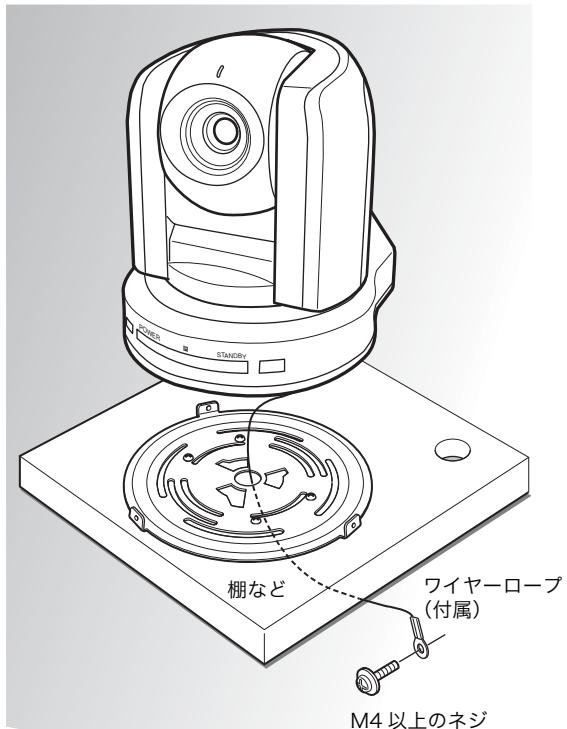
取り付けネジは付属のネジをご使用ください。付属品以外のネジを使用した場合、本体内部を破損する恐れがあります。

- 3 シーリングブラケット（B）をカメラを設置する棚などに取り付ける。ネジ 4 本（付属していません）を使って取り付けます。取り付ける棚などの材質に合ったネジをお使いください。

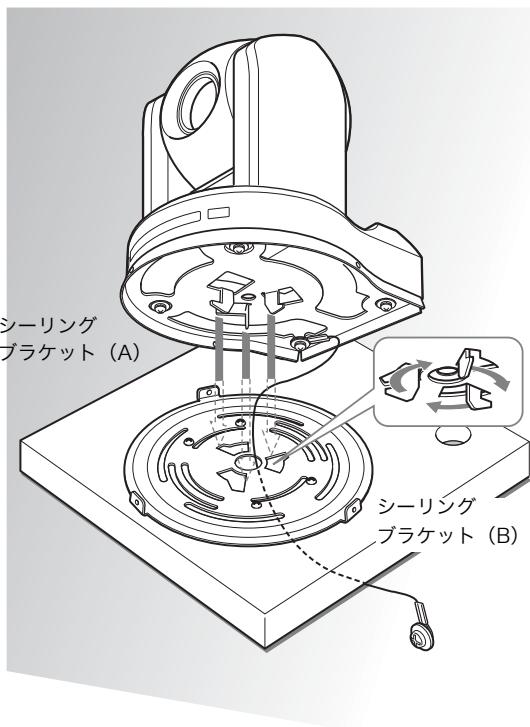
シーリングブラケット（B）のネジ穴の 1 つが、あとでカメラの正面になる位置です。カメラが正面を向くよう、シーリングブラケットの向きを調整して取り付けてください。



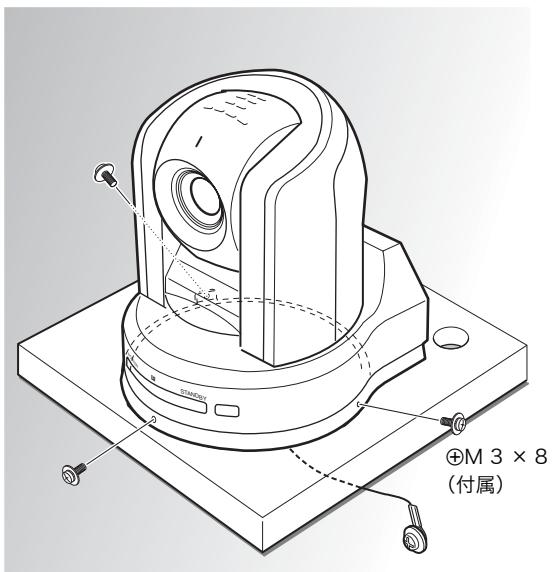
- 4 ワイヤーロープを棚側の部材に取り付ける。
取り付けネジは、外径が M4 以上のネジ（付属していません）を使用し、シーリングブラケット（B）を取り付けた棚などとは別の部材に取り付けてください。



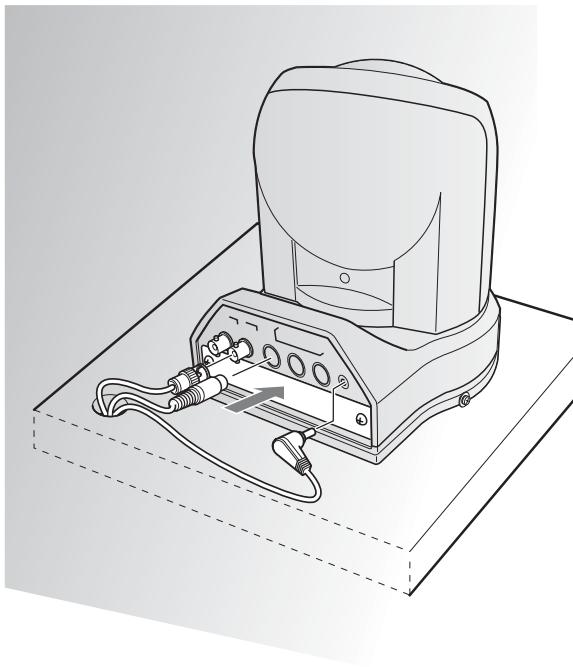
- 5 シーリングブラケット（A）の突起をシーリングブラケット（B）の穴に差し込み、シーリングブラケット（A）をカメラごと右方向へ回して仮固定する。



- 6 付属のネジ（ $\oplus M3 \times 8$ ）3 本でシーリングブラケット（A）と（B）を固定する。



- 7 カメラ後面の端子にケーブルを接続する。



ご注意

接続したケーブル類は接続部に負荷がかからないように処理してください。

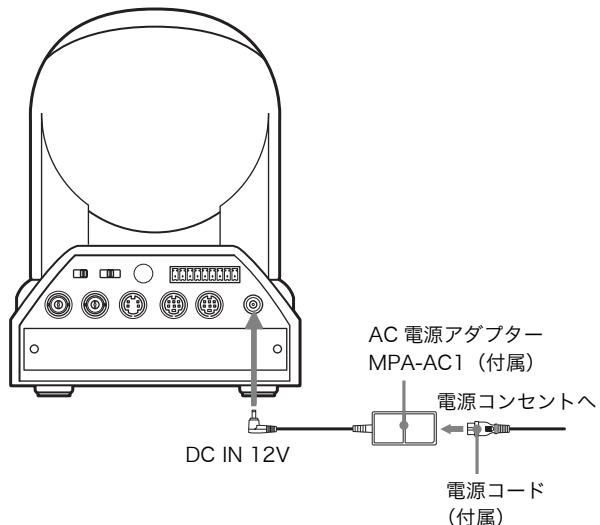
カメラの外しかた

- 1 「高所の棚などへの設置（設置例）」の手順 6 で、カメラを固定したネジ 3 本を外す。
- 2 カメラ全体を左方向へ回して外す。

接続する

AC 電源への接続

付属の AC 電源アダプターと電源コードを使って、AC 電源へ接続します。

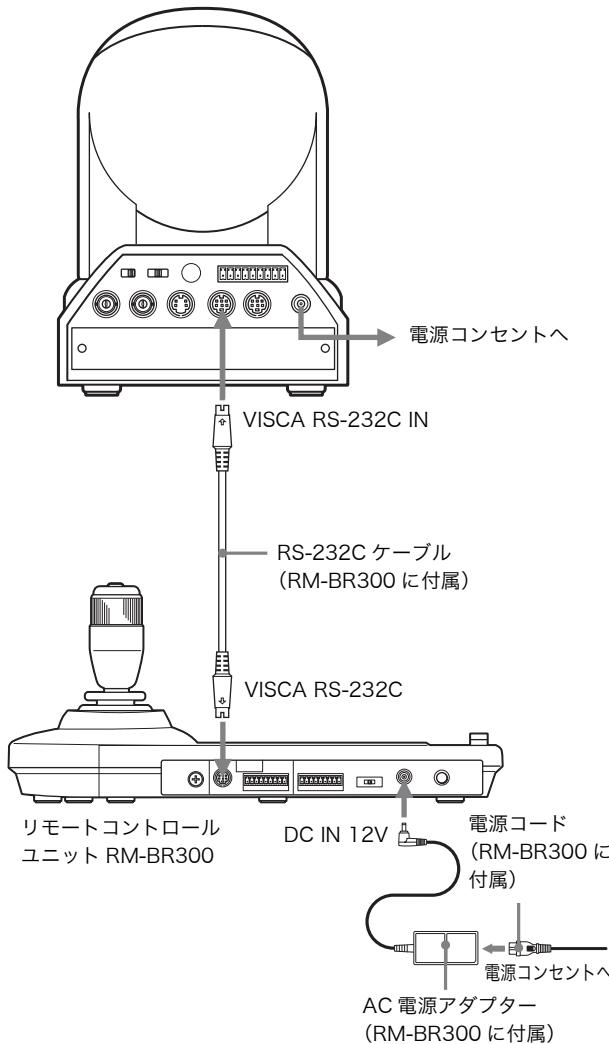


警告

本機は電源スイッチを備えていません。
設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

リモートコントロールユニット RM-BR300 との接続

リモートコントロールユニットに付属の RS-232C 接続ケーブルを使って接続します。



ご注意

VISCA RS-232C 接続の場合は、カメラ底面の BOTTOM スイッチ (19 ページ) とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ (23 ページ) で RS-232C が選択されていることを確認してください。

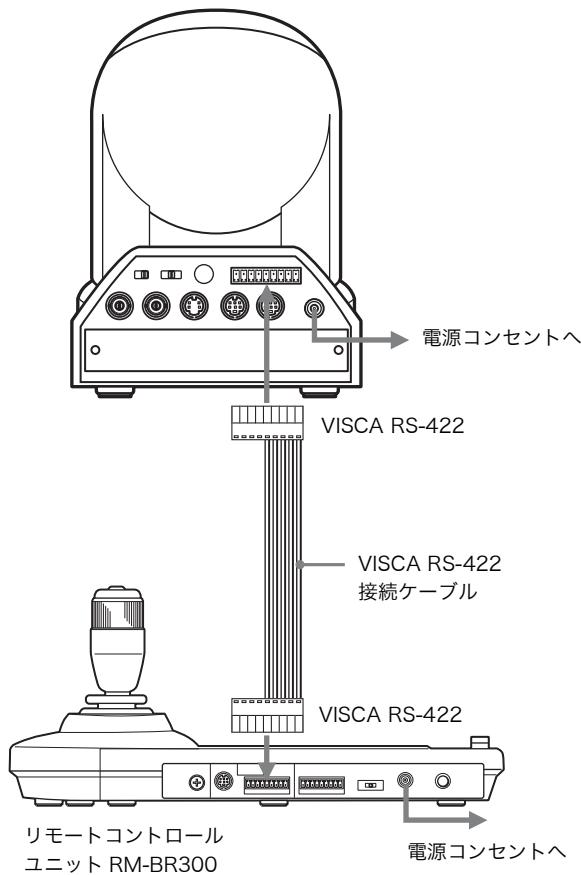
VISCA RS-422 端子を使って接続するには

RS-232C 接続ケーブルの代わりに、VISCA RS-422 端子を使ってリモートコントロールユニット RM-BR300 を接続することもできます。VISCA RS-422 接続では、最大 1.2 km までの接続が可能です。

カメラとリモートコントロールユニットに付属の RS-422 端子台コネクターを使って、接続ケーブルを製作してください。

接続ケーブル製作の際は、VISCA RS-422 端子のピン配列 (69、70 ページ) と VISCA RS-422 接続の配線図 (72 ページ) を参考してください。

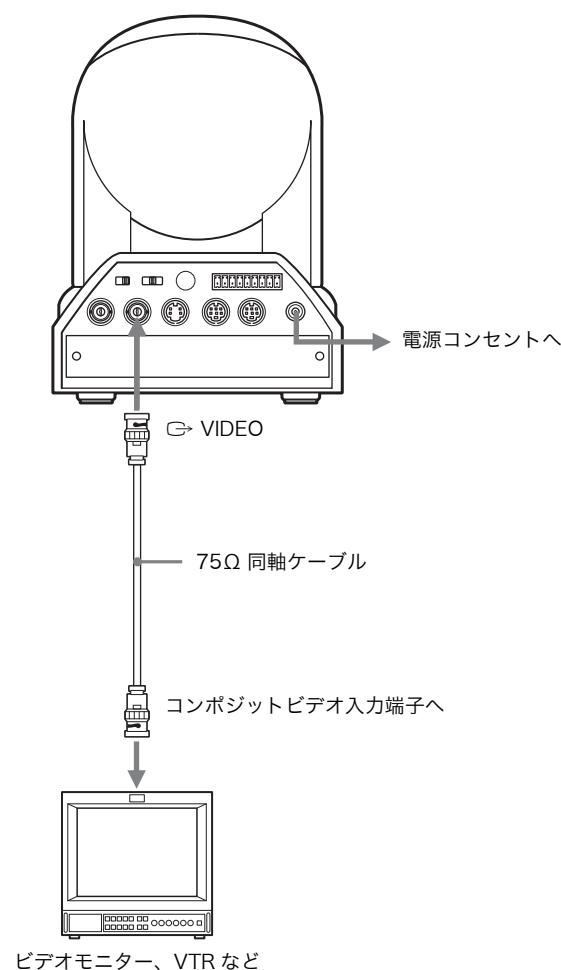
また、VISCA RS-422 端子台コネクターの使いかたは、73 ページをご覧ください。



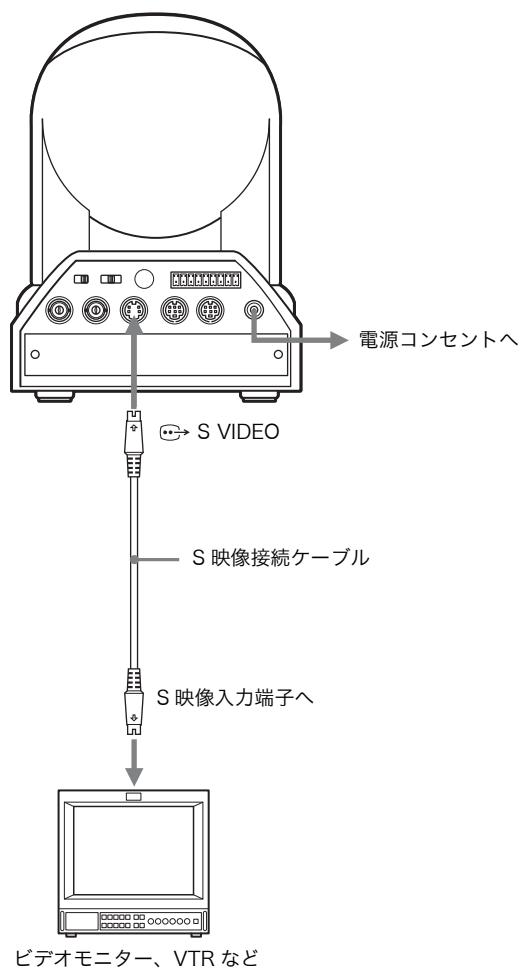
ご注意

- VISCA RS-422 接続の場合は、カメラ底面の BOTTOM スイッチ (19 ページ) とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ (23 ページ) で RS-422 が選択されていることを確認してください。
- VISCA RS-422 接続時は VISCA RS-232C 接続を行うことはできません。

コンポジット入力端子を持つビデオモニターや VTR との接続

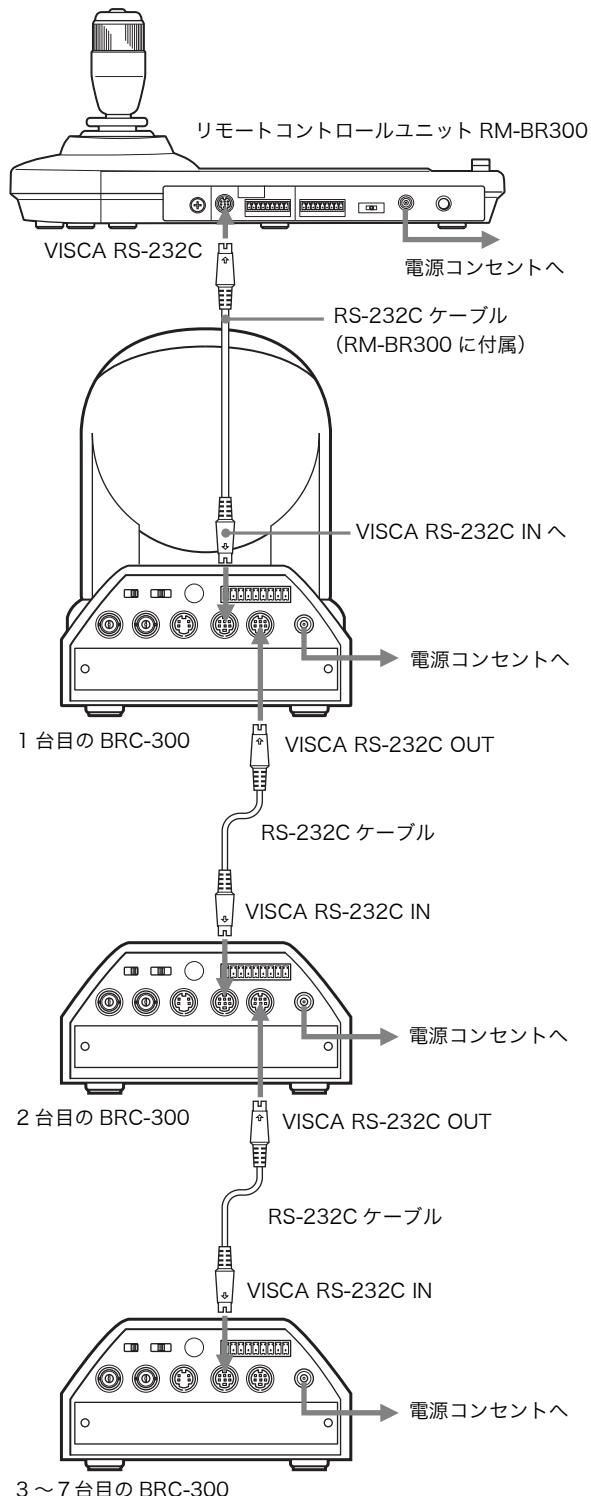


S 映像入力端子を持つビデオモニターや VTR との接続



VISCA RS-232C 端子を持つ機器との接続

VISCA RS-232C 接続ケーブル（クロスタイプ）を接続すると、複数のカメラを 1 台のリモートコントロールユニット RM-BR300 でコントロールすることができます。



リモートコントロールユニット RM-BR300 の代わりに、VISCA RS-232C 端子を持つコンピューターに接続することも可能です。

ご注意

VISCA RS-232C 接続の場合は、カメラ底面の BOTTOM スイッチ（19 ページ）とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ（23 ページ）で RS-232C が選択されていることを確認してください。

VISCA RS-422 端子を持つ機器との接続

VISCA RS-422 端子を使って複数のカメラを接続することもできます。VISCA RS-422 接続では、最大 1.2 km までの接続が可能です。

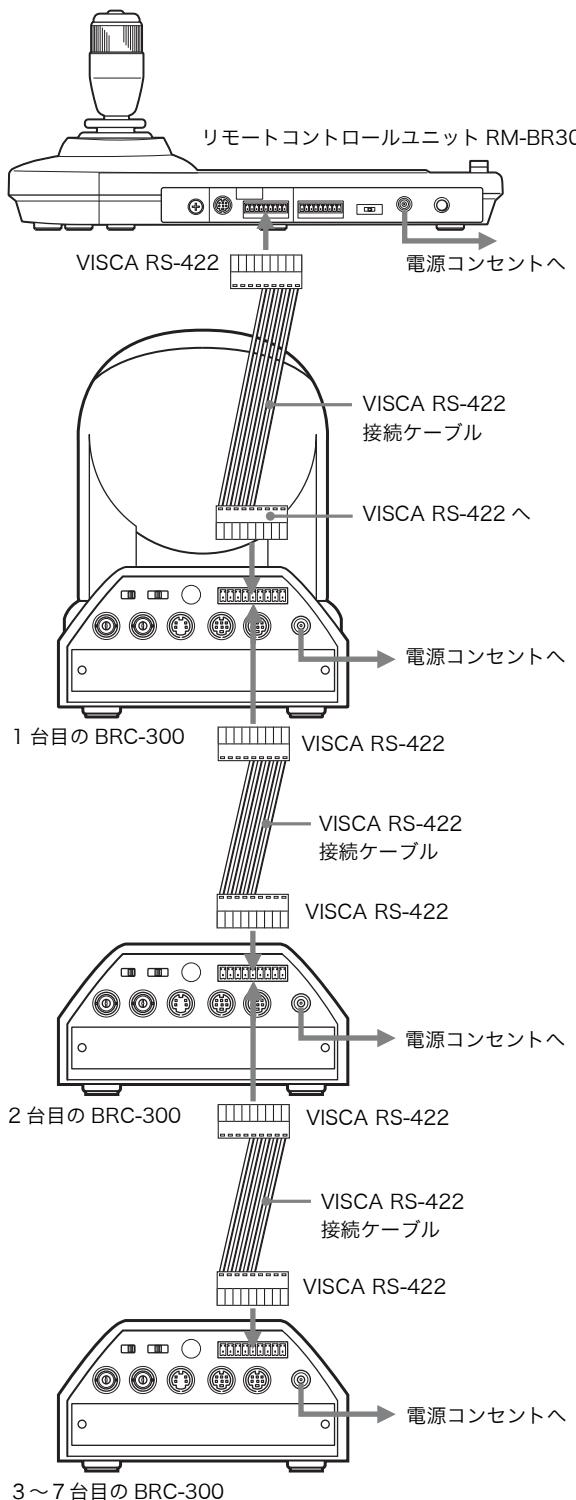
カメラとリモートコントロールユニットに付属の RS-422 端子台コネクターを使って、接続ケーブルを製作してください。

接続ケーブル製作の際は、VISCA RS-422 端子のピン配列（69、70 ページ）と VISCA RS-422 接続の配線図（72 ページ）を参考してください。

また、VISCA RS-422 端子台コネクターの使いかたは、73 ページをご覧ください。

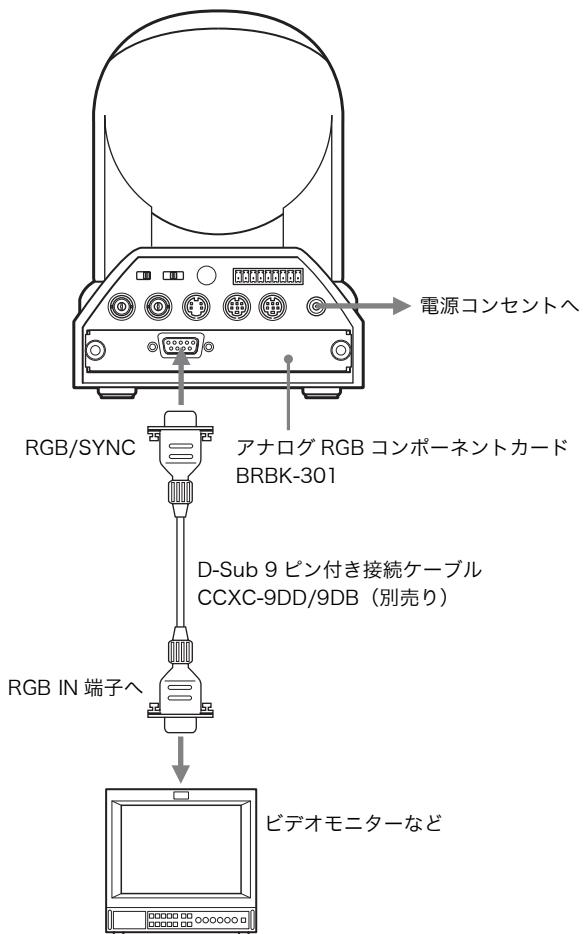
ご注意

- VISCA RS-422 接続の場合は、カメラ底面の BOTTOM スイッチ（19 ページ）とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ（23 ページ）で RS-422 が選択されていることを確認してください。
- VISCA RS-422 接続時は VISCA RS-232C 接続を行うことはできません。
- VISCA RS-422 接続と VISCA RS-232C 接続のケーブルを同時に配線しないでください。同時に配線すると、カメラが誤動作することがあります



アナログ RGB/コンポーネント端子を持つビデオモニターとの接続

別売りのアナログ RGB コンポーネントカード BRBK-301 を本機に取り付けると、カメラ映像をコンポーネントビデオ信号や RGB 信号、コンポジットビデオ信号、S 映像信号に変換して出力することができます。

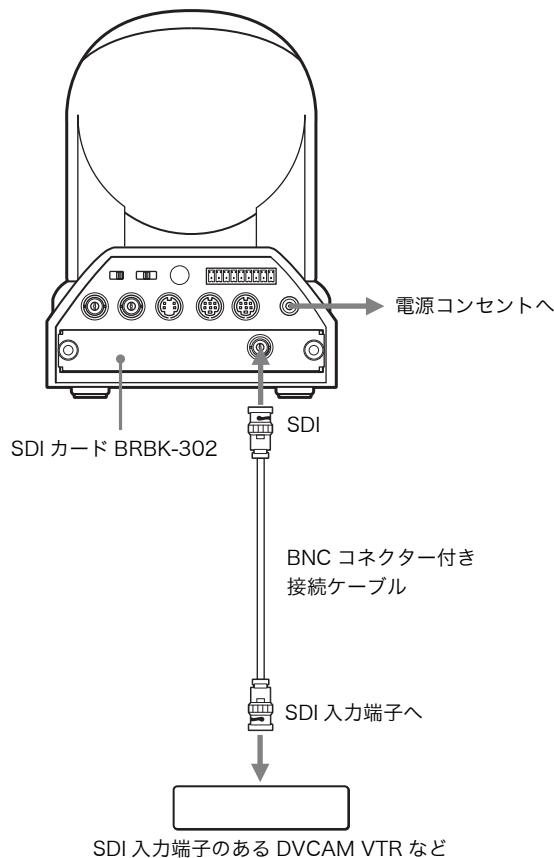


アナログ RGB コンポーネントカード BRBK-301 の取り付けかたは、45 ページをご覧ください。

出力信号の切り換えは、ANALOG OUT メニューの OUTPUT 1 と OUTPUT2 で行います。「ANALOG OUT メニュー」(33 ページ) をご覧ください。

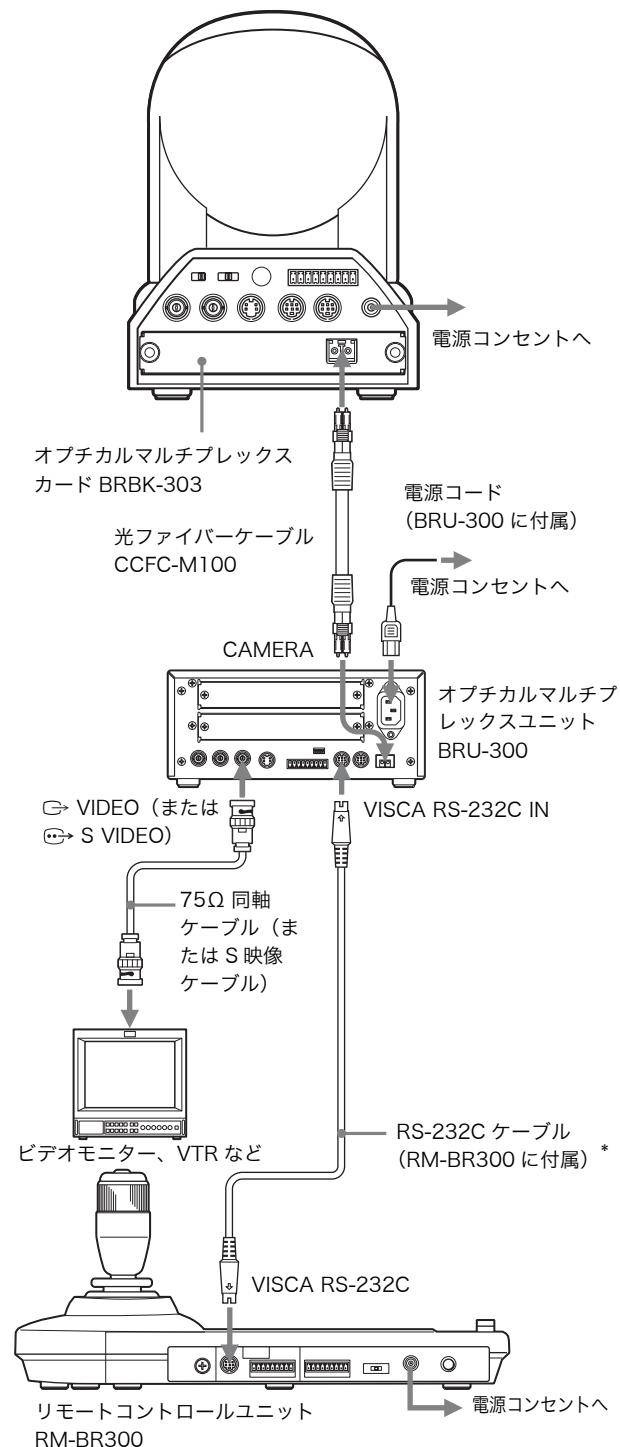
SDI 入力端子を持つ VTR との接続

別売りの SDI カード BRBK-302 を本機に取り付けると、カメラ映像を SDI (SMPTE 259M シリアルデジタルインターフェース) 規格に準拠した信号に変換して出力することができます。



オプチカルマルチプレックスユニット BRU-300 との接続

別売りのオプチカルマルチプレックスカード BRBK-303 を本機に取り付けると、光ファイバーケーブル CCFC-M100 とオプチカルマルチプレックスユニット BRU-300 を使って、最大 500m の距離からカメラをコントロールすることができます。



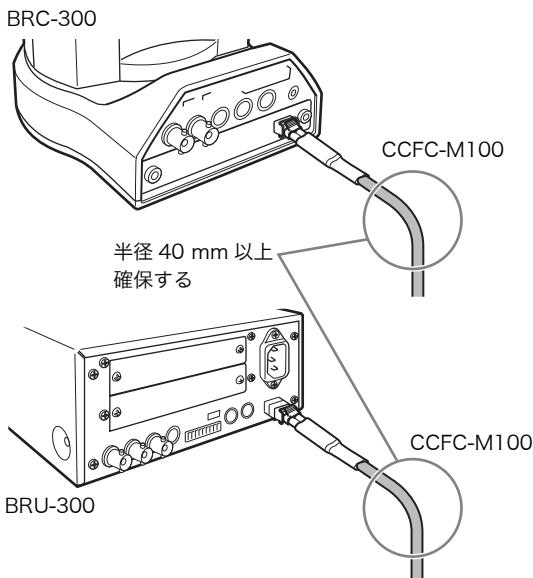
* VISCA RS-232C 接続の代わりに VISCA RS-422 端子を使って、VISCA RS-422 接続を行うこともできます。

ご注意

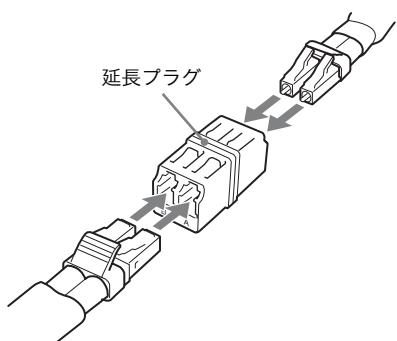
- 光ファイバーケーブル接続時は、カメラの VISCA RS-232C 端子と VISCA RS-422 端子は使えません。
- オプチカルマルチプレックスユニットとリモートコントロールユニットを VISCA RS-232C 接続または VISCA RS-422 接続する場合は、オプチカルマルチプレックスユニット後面の VISCA FUNCTION スイッチ (24 ページ) とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ (23 ページ) で使用する VISCA 方式が選択されていることを確認してください。

光ファイバーケーブル CCFC-M100 ご使用時のご注意

- 光ファイバーケーブルの伝送特性に影響を及ぼさないため、ケーブルの曲げ部分は半径 40 mm 以上確保して固定してください。



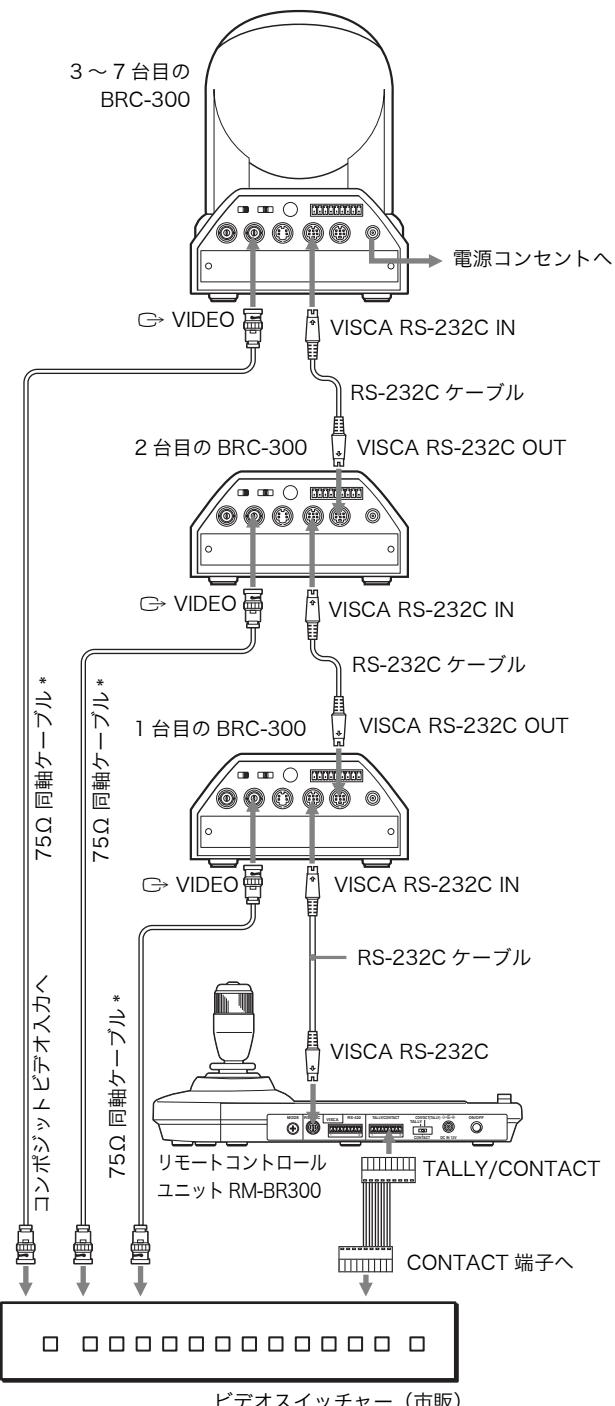
- 2 本の光ファイバーケーブル CCFC-M100 を接続して延長する場合は、光ファイバーケーブルに付属の延長プラグを使用してください。



光ファイバーケーブル CCFC-M100 は難燃規格 VW-1 適合品です。

ビデオスイッチャーとの接続

複数のカメラを切り換えて使うとき、市販のビデオスイッチャーを接続します。

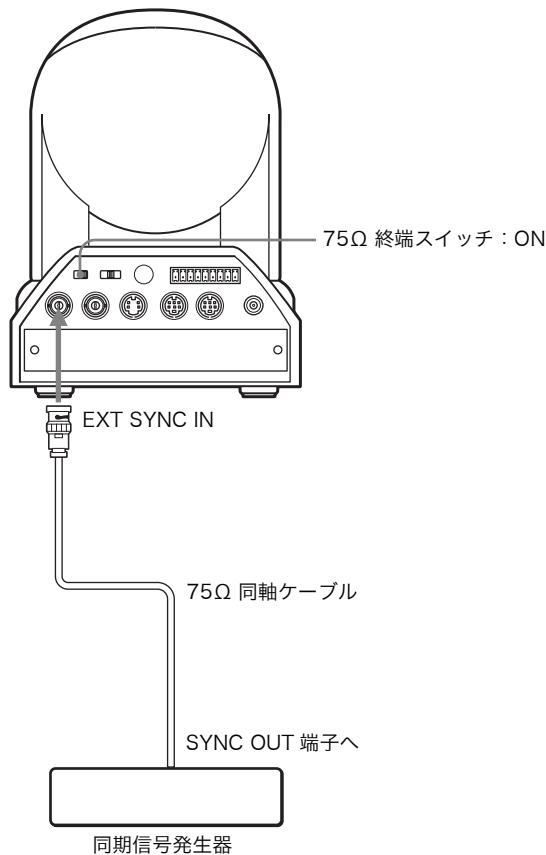


* S 映像ケーブルを使ってカメラの S VIDEO 端子をビデオスイッチャーの S ビデオ入力端子へ接続することもできます。

ビデオスイッチャーへの接続については、スイッチャーの取扱説明書をご覧ください。

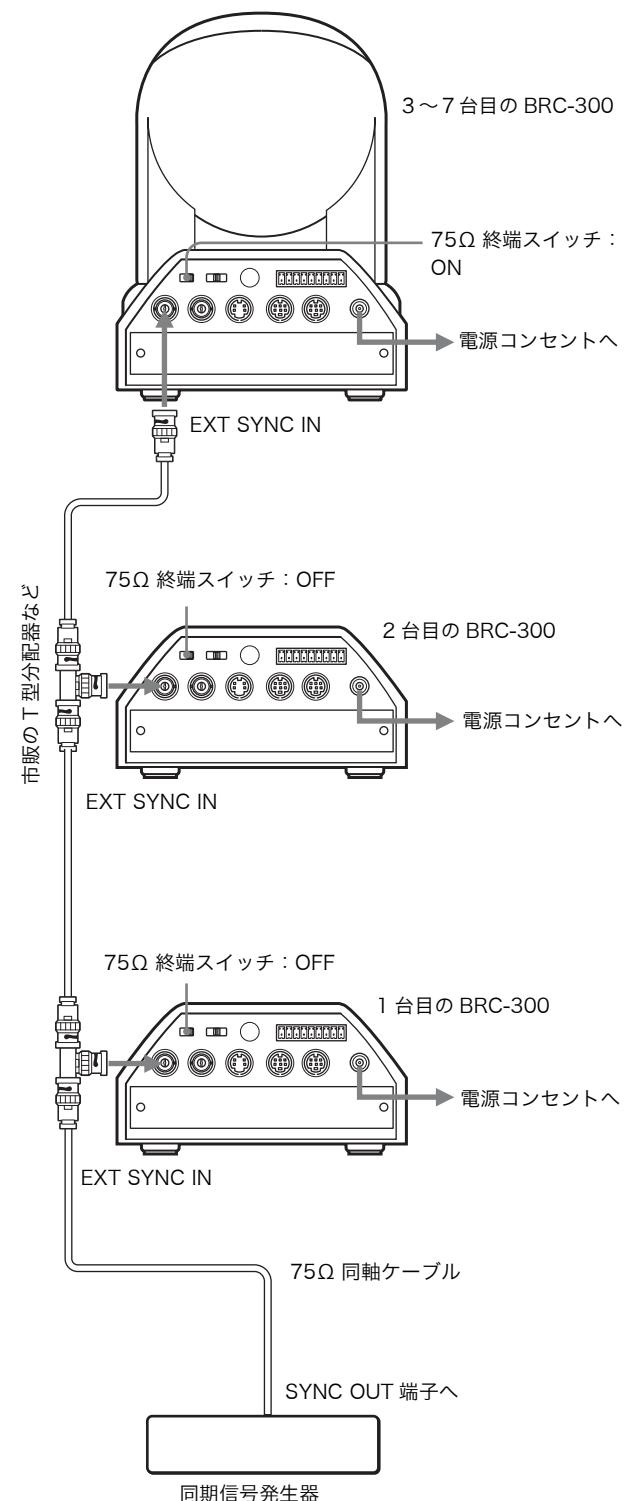
外部同期の接続

カメラ 1 台の場合



カメラが複数の場合

最大 7 台までのカメラが接続可能です。



メッセージ一覧

本機に表示されるメッセージは、以下のとおりです。必要に応じて次に示す処置を行ってください。

カメラ BRC-300 のランプ表示

ランプ	意味と対策
STANDBY ランプの点滅	パン・チルト駆動部にエラーが発生してカメラの動きが停止しました。パン・チルト位置をリセットしてください。または、カメラの電源を入れ直してください。
タリーランプの点滅	この状態で本機を使用すると故障の原因となりますので、本機の電源を切り、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

カメラ BRC-300 の画面表示

メッセージ	意味と対策
Please restart system	SYSTEM メニューの IMG-FLIP または PAN TILT ZOOM メニューの D-ZOOM を変更したとき、カメラの電源を入れ直すことをうながすメッセージです。 付属のリモコンの POWER スイッチまたはリモートコントロールユニット RM-BR300 の POWER ボタンを押して、カメラの電源を入れ直してください。変更した設定が有効になります。
PRESET xx OK (xx は 1 ~ 6)	ポジション 1 ~ 6 にカメラの状態を記憶させたとき、2 秒間表示されます。
White balance active	ホワイトバランスの自動調整中、画面上に点滅します。しばらくお待ちください。調整が終了すると消えます。
White balance active Please wait	リモートコントロールユニット RM-BR300 の ONE PUSH AWB ボタンを押してワンプッシュホワイトバランス調整を行ったときのみ、表示されます。

オプチカルマルチプレックスユニット BRU-300 のエラー表示

メッセージ	意味と対策
Communication error Please check connection	オプチカルマルチプレックスユニットの電源を入れたとき、カメラとオプチカルマルチプレックスユニットをつなぐ光ファイバーケーブルに不具合があると、このメッセージが表示されます。光ファイバーケーブルの接続をチェックしてから電源を入れ直してください。
Option card error Please check option card	オプチカルマルチプレックスユニットのカードスロットの両方に、同じ別売りのインターフェースカードが挿入されている場合に表示されます。オプチカルマルチプレックスユニットの電源を切り、カードを 1 枚抜いてから電源を入れ直してください

故障かな？と思ったら

故障とお考えになる前に下記の項目をもう一度チェックしてみてください。それでも具合の悪いときは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	AC 電源アダプターが DC IN 12V 端子にしっかりと接続されていない。	奥までしっかりと差し込んでください。
	電源コードが AC 電源アダプターや電源コンセントにしっかりと接続されていない。	奥までしっかりと差し込んでください。
	オプチカルマルチプレックスカード BRBK-303 がカードスロットに挿入されている。	カードを抜いてください。
	オプチカルマルチプレックスカード BRBK-303 と光ファイバーケーブル CCFC-M100、オプチカルマルチプレックスユニット BRU-300 を使用した遠距離リモート操作用のシステムのとき、光ファイバーケーブルが正しく接続されていない、またはオプチカルマルチプレックスユニットの電源が入っていない。	光ファイバーケーブルを奥までしっかりと差し込んでください。 オプチカルマルチプレックスユニットの電源を入れてください、または電源コンセントにしっかりと差し込んでください。
付属のリモコンでカメラの電源が入らない。	SYSTEM メニューの IR-RECEIVE が OFF になっている。	リモートコントロールユニット RM-BR300 を使ってメニューを操作し、IR-RECEIVE を ON にしてください (32 ページ)。
接続したビデオモニターに画像がない。	映像接続ケーブルが正しく接続されていない。 カメラの露出が正しく設定されていない。	本機とビデオモニターの接続を確認してください。 EXPOSURE メニューで露出の設定を確認してください。
パン・チルト・ズームが動作しない。	カメラのメニューが表示されている。 パン・チルト範囲が制限されている。	付属のリモコンの DATA SCREEN ボタン、またはリモートコントロールユニット RM-BR300 の MENU ボタンを押してメニューを消してください。 PAN TILT ZOOM メニューの PAN-TILT LIMIT の設定を変更してください (31 ページ)。
リモコンのボタンを押しても動作しない。	リモコンの CAMERA SELECT ボタンの番号と、カメラの IR SELECT スイッチの設定が違っている。	IR SELECT スイッチの設定と合った CAMERA SELECT ボタンを押してください (35 ページ)。
リモートコントロールユニット RM-BR300 からカメラが操作できない。	VISCA RS-422 接続が正しく行われていない。 カメラ底面の BOTTOM スイッチでカメラアドレスを 0 (AUTO) 以外に設定している。	VISCA RS-422 端子への接続、および RS-422 ケーブルの配線を確認してください。 カメラアドレスを確認し (19 ページ)、リモートコントロールユニット後面の MODE 切換スイッチを同じ番号に設定してください (23 ページ)。
	VISCA 通信方法の設定が違っている。	カメラ底面の BOTTOM スイッチ (19 ページ) とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ (23 ページ) で正しい通信方法 (RS-232C または RS-422) に設定してください。
	通信ボーレートの設定が異なっている。	カメラ底面の BOTTOM スイッチ (19 ページ) とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ (23 ページ) で同じボーレート (9600 bps または 38,400 bps) に設定してください。
	未使用のスイッチが ON になっている。	カメラ底面の BOTTOM スイッチのスイッチ 1 とカメラアドレス設定スイッチのスイッチ 4 を OFF に設定してください (19 ページ)。

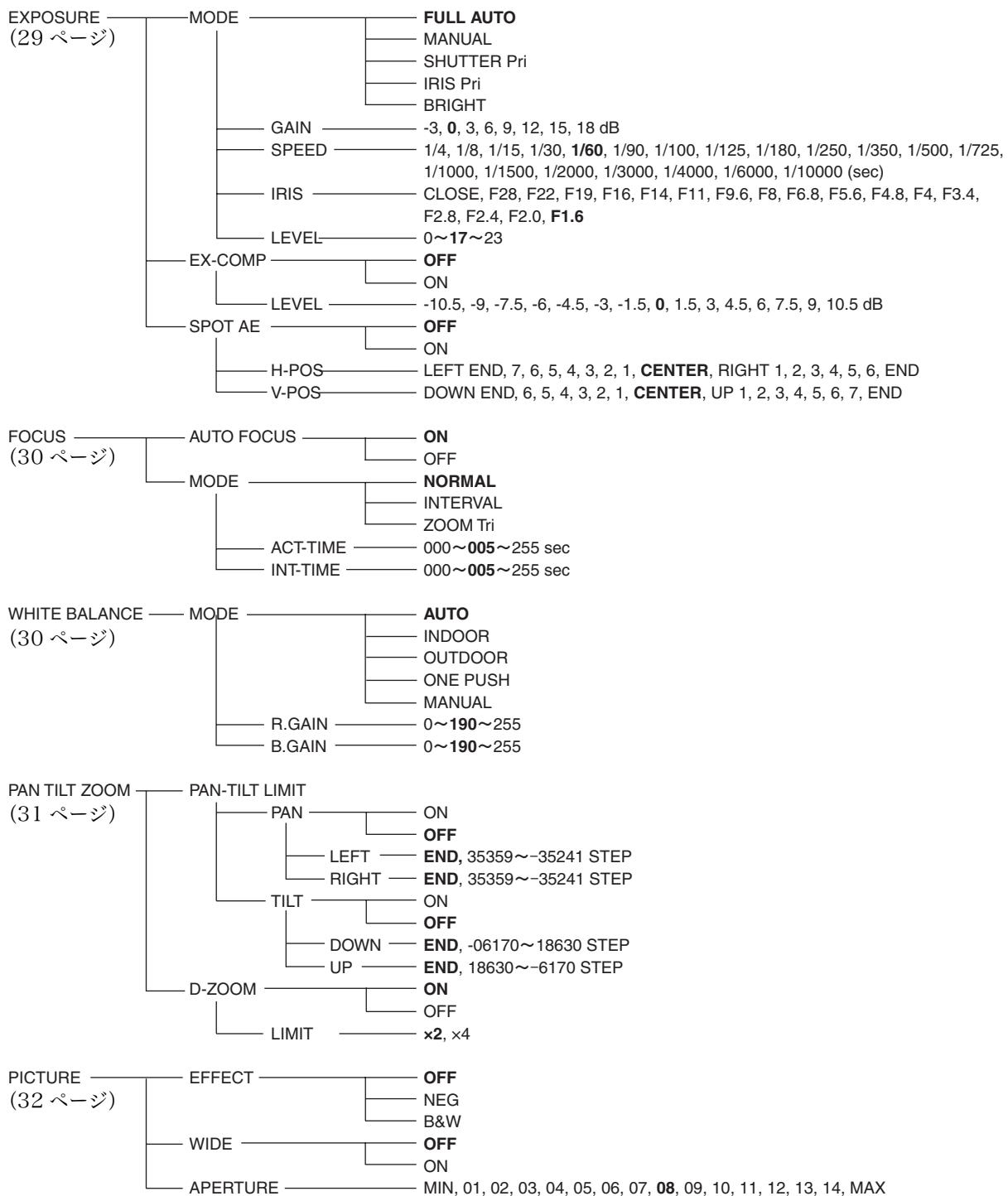
症状	原因	処置
コンピューターに接続しても VISCA 通信ができない。	コンピューターが正しく接続されていない。	本機とコンピューターの接続を確認してください。 カメラ底面の BOTTOM スイッチ (19 ページ) とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ (23 ページ) で VISCA 通信方法 (RS-232C または RS-422) とポーレート (9600 bps または 38,400 bps) が正しく設定されているか確認してください。
コンピューターに接続したときの画 質がビデオモニターの場合と異なる。	コンピューターやコンピューターの内蔵ボードの 機種によっては、ご希望の画質が得られないこと がある。	詳しくは、お手持ちのコンピューターのメーカーや販売 店へご相談ください。
どうしても動作しない。	—	電源コードのプラグをコンセントから抜き、しばらくしてからもう一度つないでみてください。

メニューの構成

本機のメニューは次のように構成されています。詳しい

内容は、()内のページをご覧ください。

各項目の初期設定値は、太字で示しています。



SYSTEM (32 ページ)	DATA MIX	OFF <input type="checkbox"/> ON
	IR-RECEIVE	ON <input checked="" type="checkbox"/> OFF
	IMG-FLIP	OFF <input type="checkbox"/> ON
	PAN REVERSE	OFF <input type="checkbox"/> ON
	TILT REVERSE	OFF <input type="checkbox"/> ON
	DISPLAY INFO	OFF <input type="checkbox"/> ON

ANALOG OUT (33 ページ)	OUTPUT 1	RGB <input type="checkbox"/> YCrCb
	SYNC	G <input type="checkbox"/> RGB <input type="checkbox"/> OFF
	OUTPUT 2	VBS <input type="checkbox"/> Y/C



プリセット項目

カメラ内部のメモリーには、次の設定項目が記憶されます。

記憶できる項目	プリセットポジション番号					
	1	2	3	4	5	6
パン・チルト位置	○	○	○	○	○	○
ズーム位置	○	○	○	○	○	○
電子ズーム オン / オフ	○	○	○	○	○	○
フォーカス オート / マニュアル	○	○	○	○	○	○
フォーカス位置	○	○	○	○	○	○
ホワイトバランスモード	○	○	○	○	○	○
R/B ゲイン設定	○	○	○	○	○	○
露出モード	○	○	○	○	○	○
シャッタースピード設定値	○	○	○	○	○	○
アイリス設定値	○	○	○	○	○	○
ゲイン設定値	○	○	○	○	○	○
ライトネスレベル	○	○	○	○	○	○
露出補正 オン / オフ	○	○	○	○	○	○
露出補正レベル	○	○	○	○	○	○
逆光補正 オン / オフ	○	○	○	○	○	○
アバーチャレベル	○	○	○	○	○	○

プリセット可能なメニュー項目

メニュー項目	プリセットポジション番号						リセット初期値 *
	1	2	3	4	5	6	
EXPOSURE MODE	○	○	○	○	○	○	FULL AUTO
EX-COMP	○	○	○	○	○	○	OFF
SPOT AE	○	×	×	×	×	×	—
FOCUS AUTO/MANUAL	○	○	○	○	○	○	ON
NORMAL, INTERVAL, ZOOM Trg	○	×	×	×	×	×	NORMAL**
WHITE BALANCE MODE	○	○	○	○	○	○	WB. AUTO
WHITE BALANCE MANUAL R./B. GAIN	○	○	○	○	○	○	WB. AUTO
D-ZOOM	○	○	○	○	○	○	D-ZOOM ON
PAN-TILT LIMIT	○	×	×	×	×	×	—
PICTURE EFFECT	○	×	×	×	×	×	OFF**
WIDE	○	×	×	×	×	×	OFF**
APERTURE	○	○	○	○	○	○	8
DATA MIX	○	×	×	×	×	×	—
IR-RECEIVE	○	×	×	×	×	×	—
IMG-FLIP	○	×	×	×	×	×	—
PAN REVERSE	○	×	×	×	×	×	—
TIILT REVERSE	○	×	×	×	×	×	—
DISPLAY INFO	○	×	×	×	×	×	—
ANALOG OUPUT 1	○	×	×	×	×	×	—
RGB/SYNC SELECT	○	×	×	×	×	×	—
ANALOG OUTPUT 2	○	×	×	×	×	×	—

* リセット初期値「—」は、カメラ起動時はポジション1に記憶された内容が呼び出されるが、この値をRESETボタンでリセットすることは不可能であることを意味します。

** ポジション1をリセットすると、この初期値に戻ります。

○:電源を入れ直しても記憶されている項目。再度電源を入れると、この設定内容でカメラが起動します。

×:電源を入れ直すと記憶が消える項目。

仕様

システム

映像信号	NTSC カラー JEITA 標準方式
同期方式	内部同期 / 外部同期方式、自動切り換え
映像素子	1/4.7 型、3 CCD (Advanced HAD) 総画素数：約 107 万画素 有効画素数：約 102 万画素
レンズ	光学 12 倍、デジタル 4 倍 $f = 3.6 \sim 43.2 \text{ mm}$ 、 $F1.6 \sim F2.8$
水平画角	$3.3^\circ \sim 37.8^\circ$ (4:3) $4.0^\circ \sim 45.4^\circ$ (16:9)
最短撮影距離	300 mm (WIDE 端)
最低被写体照度	7 ルクス (F1.6) /25 IRE にて (WIDE 端)
シャッタースピード	$1/4 \sim 1/10,000 \text{ 秒}$
水平解像度	600TV 本 (WIDE 端、4:3 モード)
映像 S/N	50 dB
パン・チルト機能	水平 ± 170° 最大速度：60° / 秒 最小速度：0.25° / 秒 垂直 + 90°, - 30° 最大速度：60° / 秒 最小速度：0.25° / 秒

入出力端子

映像出力	BNC (1)、1 Vp-p、 75 Ω 不平衡、同期負
S 映像出力	4 ピンミニ DIN (1) Y: 1 Vp-p、同期負 C: 映像出力のクロマレベルと同じ、 75Ω
コントロール入 / 出力端子	VISCA RS-232C IN : 8 ピンミニ DIN VISCA RS-232C OUT : 8 ピンミニ DIN VISCA RS-422 : 9 ピン
コントロール信号形式	9600 bps/38400 bps、 データ 8 ビット、ストップ 1 ビット
電源端子	JEITA type4 (DC IN 12V 端子)

その他

入力電圧	DC 12 V (DC 10.8 ~ 13.2 V)
消費電流	最大 1.8 A (DC 12 V 入力時)、 21.6W、別売りのインターフェース カード無しのとき
動作温度	0 °C ~ 40 °C
保存温度	- 20 °C ~ + 60 °C
最大外形寸法	本体 : 180 × 210.1 × 205 mm (幅 / 高さ / 奥行き) (突起含まず) リモコン : 56 × 26 × 210 mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	本体 : 約 2.5 kg リモコン : 110 g
設置角度	水平に対して ± 15° 以内

付属品

AC 電源アダプター MPA-AC1 (ソニー製) (AC 100 V、 50/60 Hz) (1)
電源コード (1)
リモコン (1)
シーリングブラケット (A) (1)
シーリングブラケット (B) (1)
落下防止用ワイヤーロープ (1)
取り付け用ネジ (M3 × 8) (7)
RS-422 端子台コネクター (1)
取扱説明書 (1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

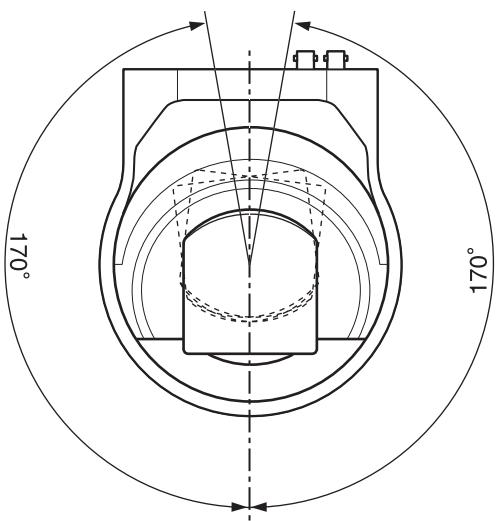
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかるわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

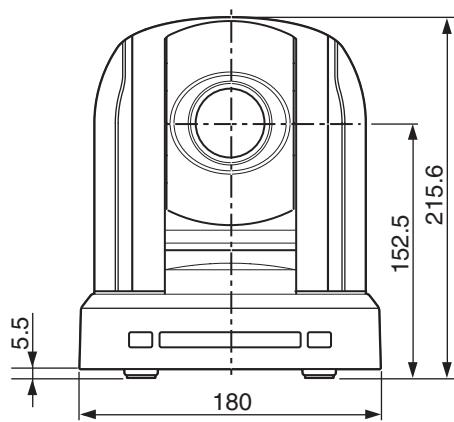
寸法図

カメラ BRC-300

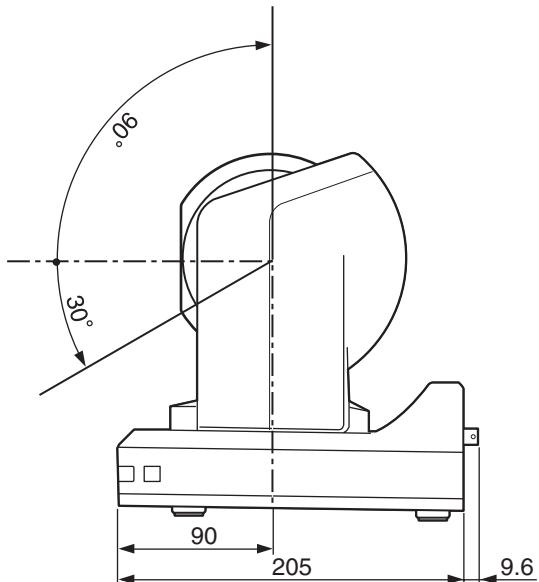
上面



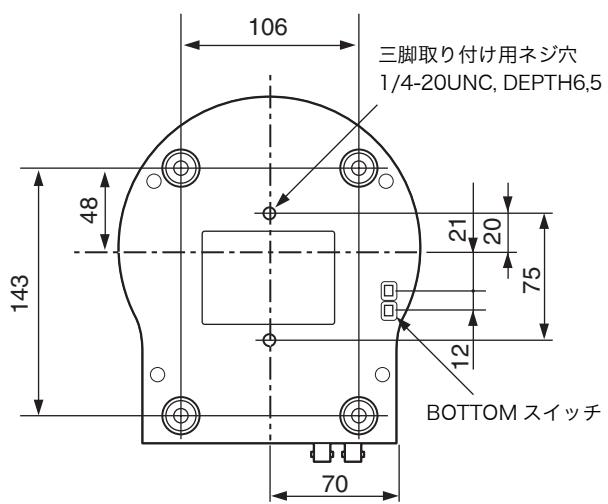
正面



側面

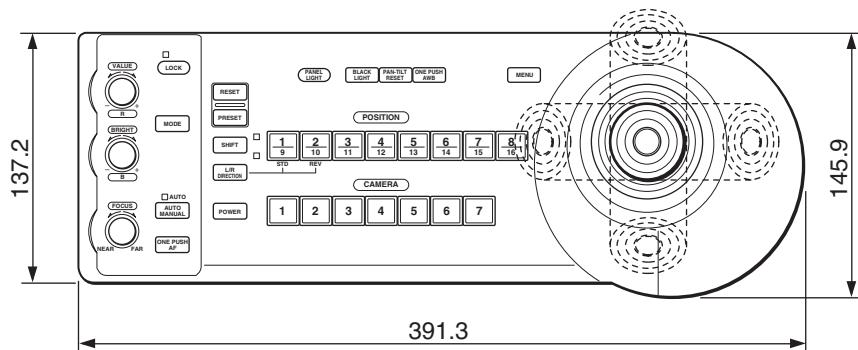


底面

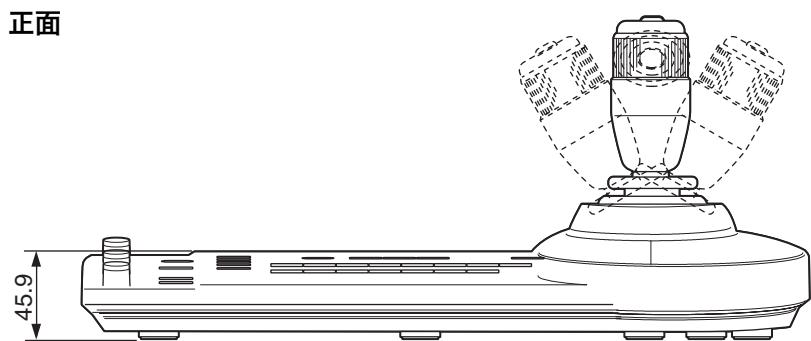


リモートコントロールユニット RM-BR300

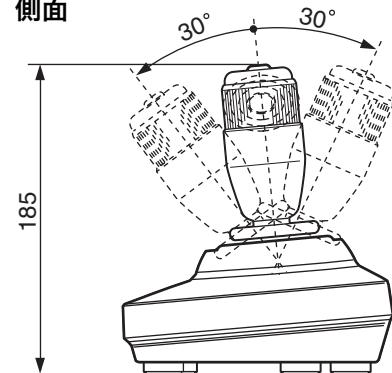
上面



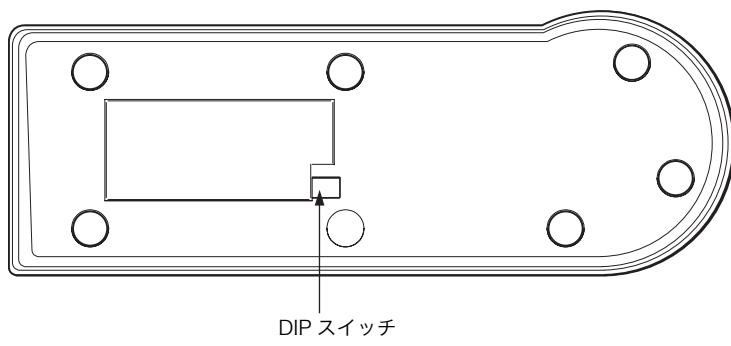
正面



側面

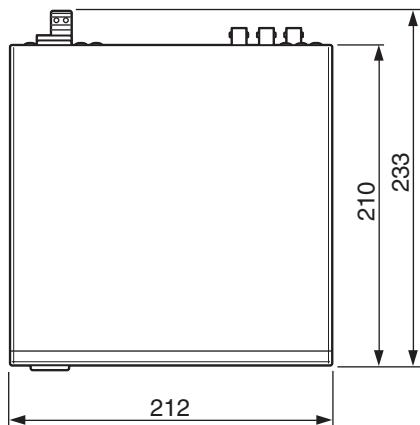


底面

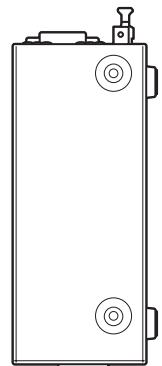


オプチカルマルチプレックスユニット
BRU-300

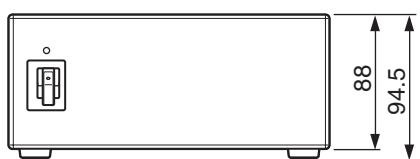
上面



側面



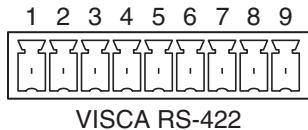
正面



端子のピン配列

カメラ BRC-300

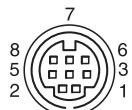
VISCA RS-422 端子 (コンタクト端子台、9ピン)



VISCA RS-422

ピン番号	機能
1	RXD OUT -
2	RXD OUT +
3	TXD OUT -
4	TXD OUT +
5	GND
6	RXD IN -
7	RXD IN +
8	TXD IN -
9	TXD IN +

VISCA RS-232C IN 端子 (8 ピンミニ DIN、メス)

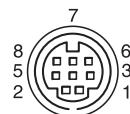


IN VISCA RS-232C

ピン番号	機能
1	DTR IN
2	DSR IN
3	TXD IN
4	GND
5	RXD IN
6	GND
7	SIRCS OUT *
8	未使用

* ピン 7 の SIRCS OUT は、底面の BOTTOM スイッチにて切り替え可能です。

VISCA RS-232C OUT 端子 (8 ピンミニ DIN、メス)



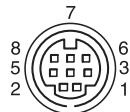
VISCA RS-232C OUT

ピン番号	機能
1	DTR OUT
2	DSR OUT
3	TXD OUT
4	GND
5	RXD OUT
6	GND
7	未使用
8	未使用

リモートコントロールユニット RM-BR300 (別売り)

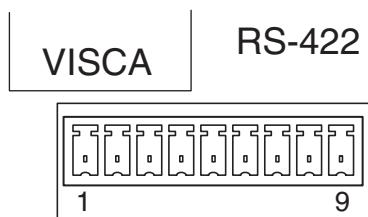
VISCA RS-232C 出力端子 (8 ピンミニ DIN、メス)

RS-232C



ピン番号	機能
1	未使用
2	未使用
3	TXD IN
4	GND
5	RXD IN
6	GND
7	未使用
8	未使用

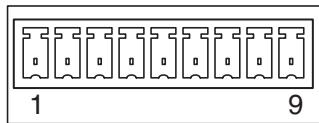
VISCA RS-422 端子 (コンタクト端子台、9 ピン)



ピン番号	機能
1	未使用
2	未使用
3	未使用
4	未使用
5	GND
6	RXD IN -
7	RXD IN +
8	TXD IN -
9	TXD IN +

TALLY/CONTACT 端子 (コンタクト端子台、9 ピン)

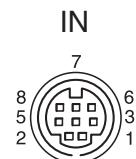
TALLY/CONTACT



ピン番号	機能
1	CAMERA 1
2	CAMERA 2
3	CAMERA 3
4	CAMERA 4
5	CAMERA 5
6	CAMERA 6
7	CAMERA 7
8	GND
9	GND

オプチカルマルチプレックスユニット
BRU-300 (別売り)

VISCA RS-232C IN 端子 (8 ピンミニ DIN、メス)



VISCA RS-232C

ピン番号	機能
1	DTR IN
2	DSR IN
3	TXD IN
4	GND
5	RXD IN
6	GND
7	未使用
8	未使用

VISCA RS-232C OUT 端子 (8 ピンミニ DIN、メス)

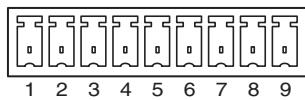


VISCA RS-232C

ピン番号	機能
1	DTR OUT
2	DSR OUT
3	TXD OUT
4	GND
5	RXD OUT
6	GND
7	未使用
8	未使用

VISCA RS-422 端子 (コンタクト端子台、9 ピン)

VISCA RS-422

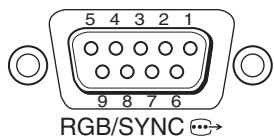


ピン番号	機能
1	RXD OUT -
2	RXD OUT +
3	TXD OUT -
4	TXD OUT +
5	GND
6	RXD IN -
7	RXD IN +
8	TXD IN -
9	TXD IN +

アナログ RGB コンポーネントカード

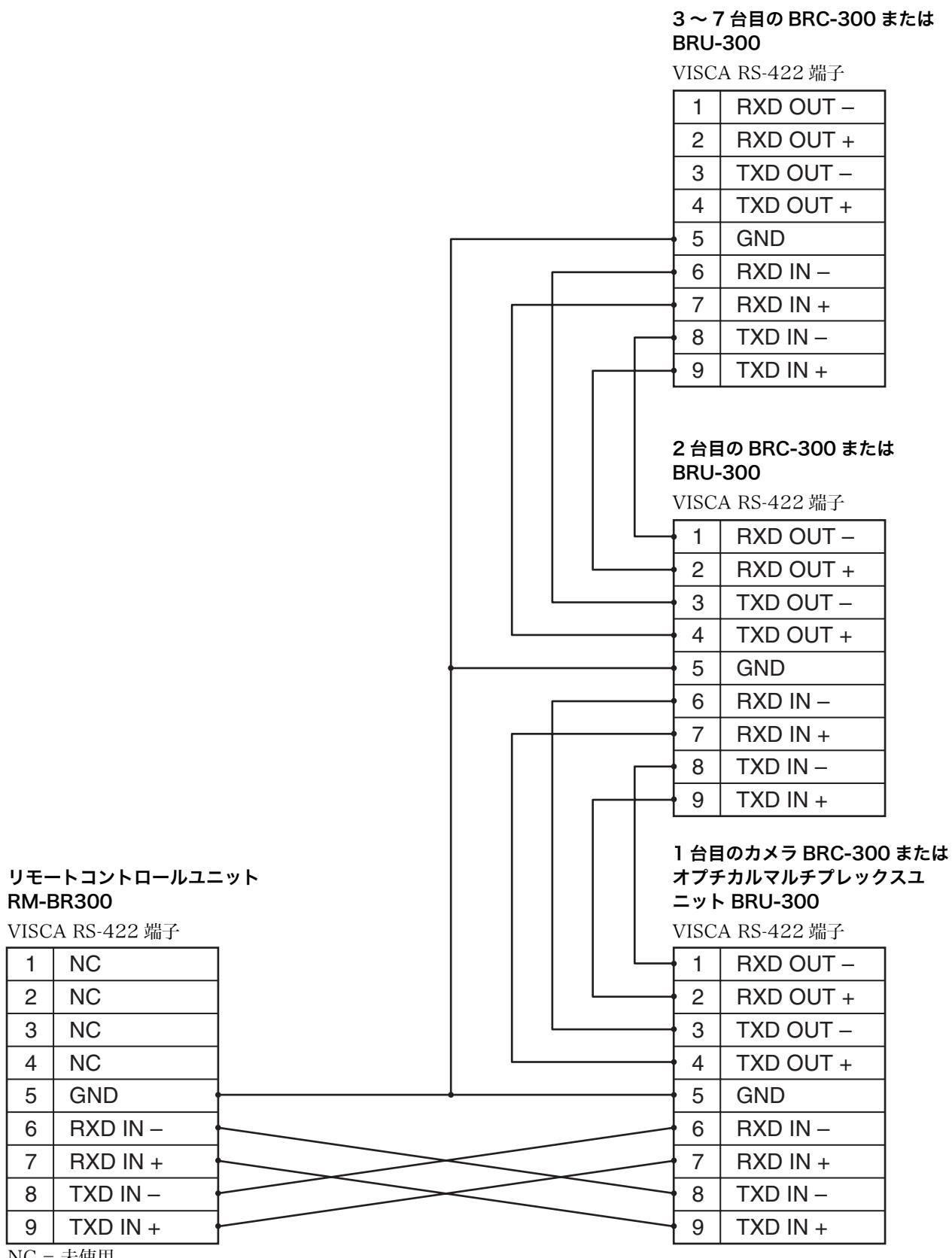
BKBK-301(別売り)

アナログビデオ出力端子 (D-sub 9 ピン)



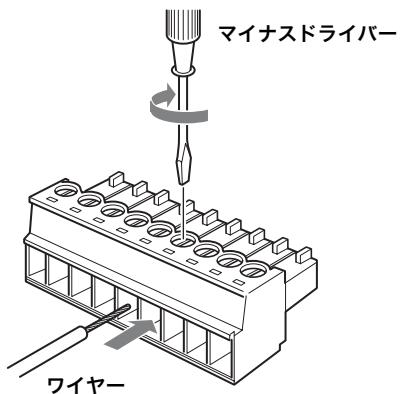
ピン番号	機能			
	RGB / VBS 設定時	RGB / Y/C 設定時	YCrCb / VBS 設定時	YCrCb / Y/C 設定時
1	RGB GND	RGB GND	RGB GND	RGB GND
2	RGB GND	RGB GND	RGB GND	RGB GND
3	R	R	Cr	Cr
4	G	G	Y	Y
5	B	B	Cb	Cb
6	コンポジット	Y	コンポジット	Y
7	SYNC	SYNC	SYNC	SYNC
8	SYNC GND	SYNC GND	SYNC GND	SYNC GND
9	未使用	C	未使用	C

VISCA RS-422 接続の配線図

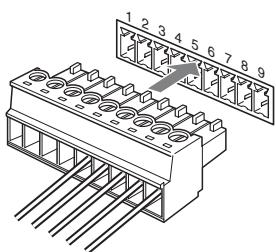


VISCA RS-422 端子台コネクターの使いかた

- 1 ワイヤー (AWG No.28 ~ 18) を接続したい穴に差し込み、入れた穴に対応するネジをマイナスドライバーで固定する。

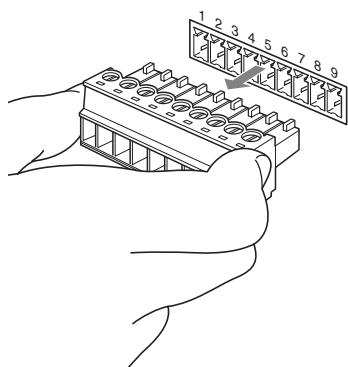


- 2 VISCA RS-422 端子台コネクターを VISCA RS-422 端子へ差し込む。



コネクタープラグを取り外すには

VISCA RS-422 端子台コネクタープラグの両端を持ち、図のように引き抜きます。



ご注意

- 信号の電圧レベルを安定させるため、お互いの GND を接続してください。
- VISCA RS-422 の接続時は、VISCA RS-232C との接続はできません。
- VISCA RS-422 接続の最大距離は、約 1.2 km です。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

